



SIC ANNUAL REPORT 2021

令和3年度事業報告

令和4年9月30日



株式会社さがみはら産業創造センター
Sagamihara Incubation Center Ltd.

INDEX

1 インキュベーション施設と入居企業

ーラボ・オフィスー

1 SIC-1	p 1. 2
2 SIC-2 Creation Lab. / R&D Lab.	p 3. 4. 5. 6
3 SIC-3	p 7. 8
4 EN-Garege	p 9
5 SIC 全体	p 10. 11

2 SIC 実施事業

ー経営サポートー

1 企業支援	p 12
2 セミナー	p 13
3 さがみはら表面技術研究所	p 14
4 海外展開支援事業 (台湾ビジネスサポート事業)	p 15

ープロジェクトー

5 産業用ロボット導入支援事業	p 16. 17. 18
6 DX化推進支援事業	p 19

ー人材育成ー

7 SIC 経営塾	p 20
8 SIC 職場リーダー養成塾	p 21
9 『子どもアントレ』『アントレ・チャレンジ』	p 22. 23
10 サガツクナビ (地元企業と学生との出会いをつなぐ)	p 24
11 マネジメント人材育成	p 25

3 SIC 会社概要

1 さがみはら産業創造センターの歩み	p 26
2 主な事業と開始年度 (カテゴリー別)	p 27
3 財務状況	p 28
4 競争的資金の獲得	p 29
5 スタッフ数の変遷	p 30
6 支援ネットワーク	p 30
7 視察・研修	p 31
8 メディア掲載	p 32
9 広報紙「かわらばん」の発行	p 33
10 株主と役員	p 34

1-1-1

S I C - 1 Startup Lab. (インキュベーションセンター)

入居対象

<新規創業者>

- ・創業準備中または創業間もない企業および個人
- ・研究開発により、新技術や新製品の創出を図り、その事業化を目指す創業間もない企業および個人

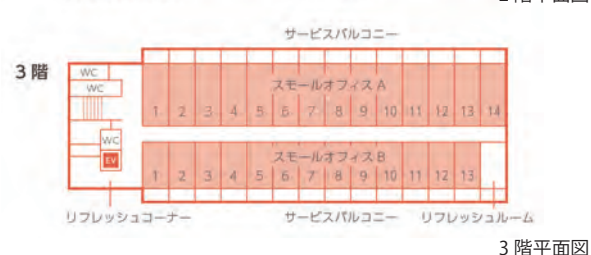
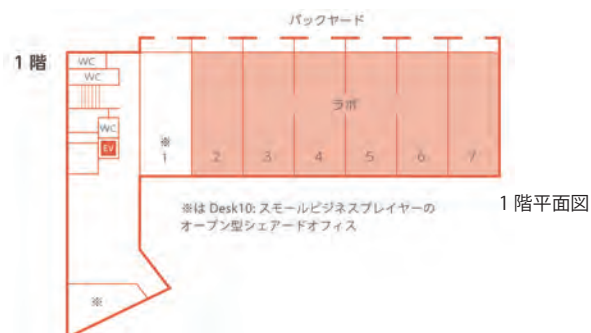
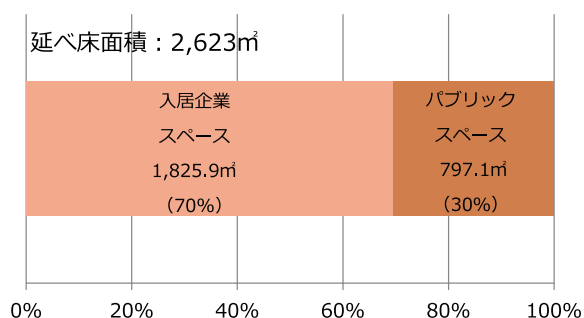
<企業>

- ・新分野進出により経営基盤の強化を目指す中小企業
- ・研究開発により新技術や新製品の創出を図り、その事業化を目指す中小企業

入居期間

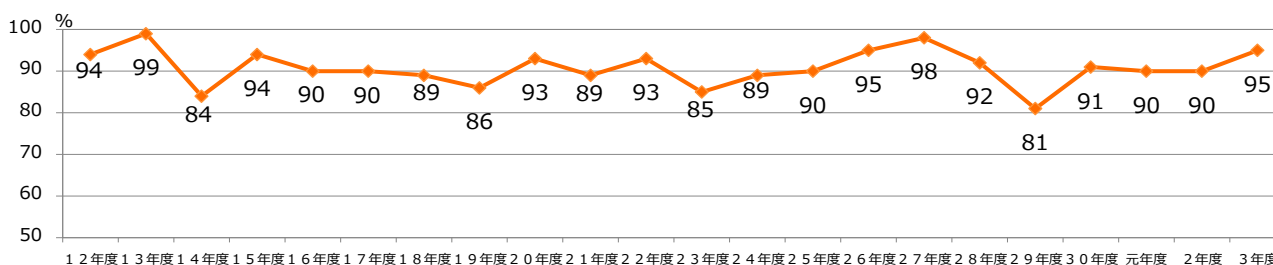
3年間(2年間の再契約が2回可)

施設概要



	ラボ	セミラボ A	セミラボ B	スモール オフィス A	スモール オフィス B
設置階	1 階	2 階		3 階	
部屋数	6 室	7 室	7 室	14 室	13 室
床面積	94.5㎡	47.3㎡	31.5㎡	23.6㎡	17.3㎡

入居率 (賃料ベース)

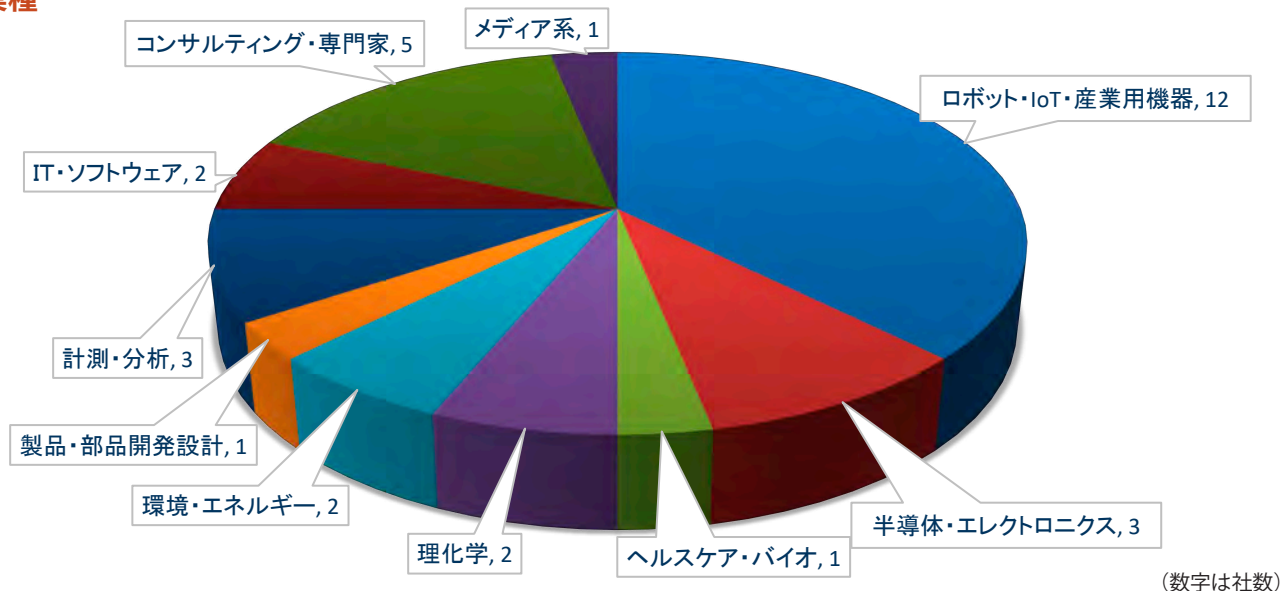


1-1-2

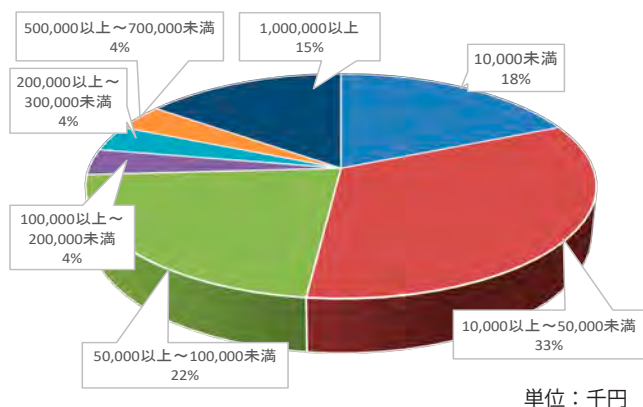
SIC - 1 Startup Lab.

入居企業データ (令和4年3月末)

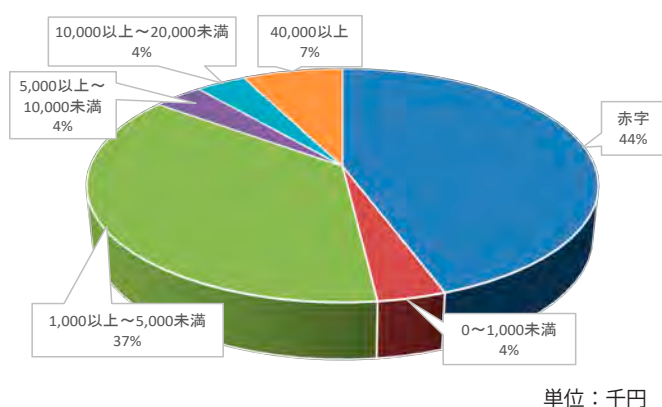
業種



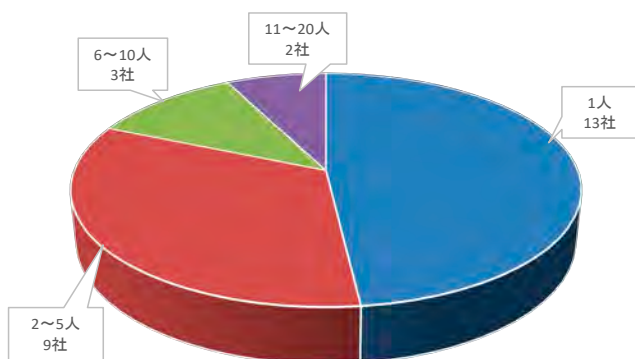
売上高



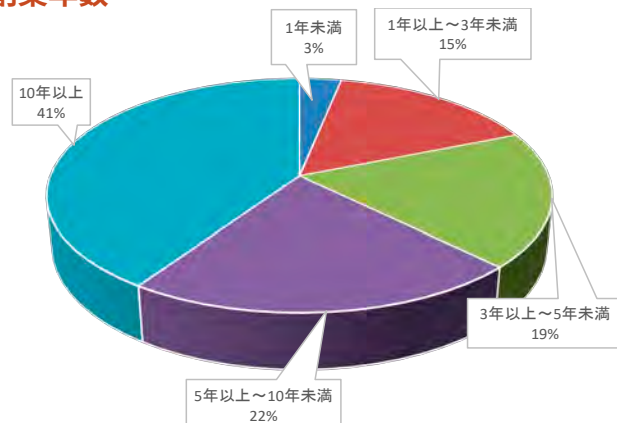
最終利益 (税引き後利益)



雇用



創業年数



売上高合計	33,424,293 千円
雇用者合計	27 社 94 人

1-2-1

SIC - 2 Creation Lab. (ポストインキュベーションセンター)

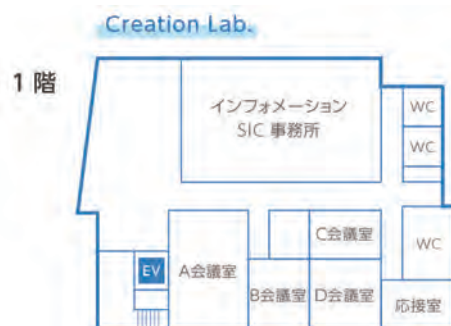
入居対象

<企業>

- ・創業期を経てさらなる規模拡大を目指す企業
- ・新分野進出によりさらなる規模拡大を目指す企業
- ・優れた技術・サービスを保有し、株式公開を目指す企業
- ・企業の研究開発部門

<産学連携企業等>

- ・産学連携による事業化を目指し、共同研究開発を行うグループ、企業、研究者等
- ・大学発の技術を活用し、事業化を目指すグループ、企業、研究者等
- ・大学研究室

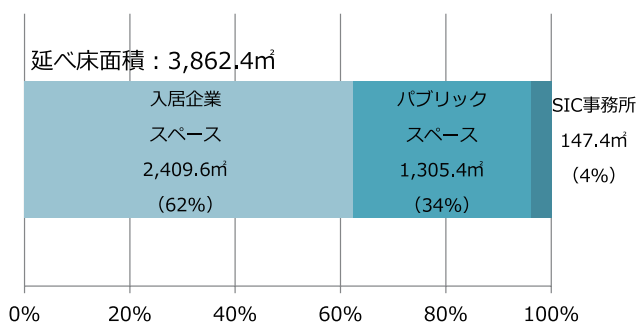


1 階平面図

入居期間

3 年間 (再契約可能)

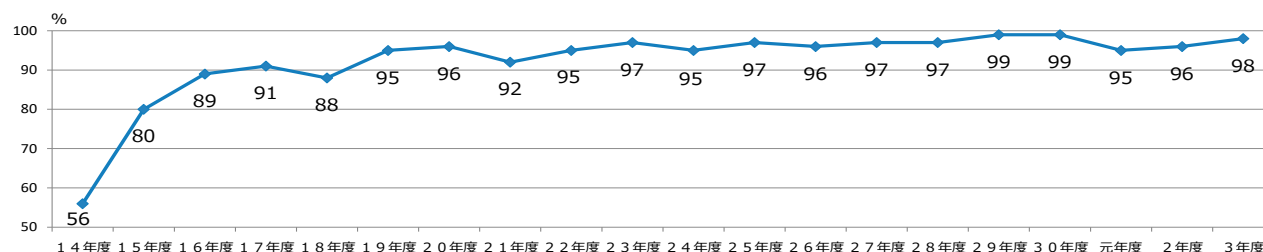
施設概要



2～7 階平面図

	セミラボ	オフィス
設置階	2～4 階	5～7 階
部屋数	24 室	24 室
床面積	50.2m²	50.2m²

入居率 (賃料ベース)

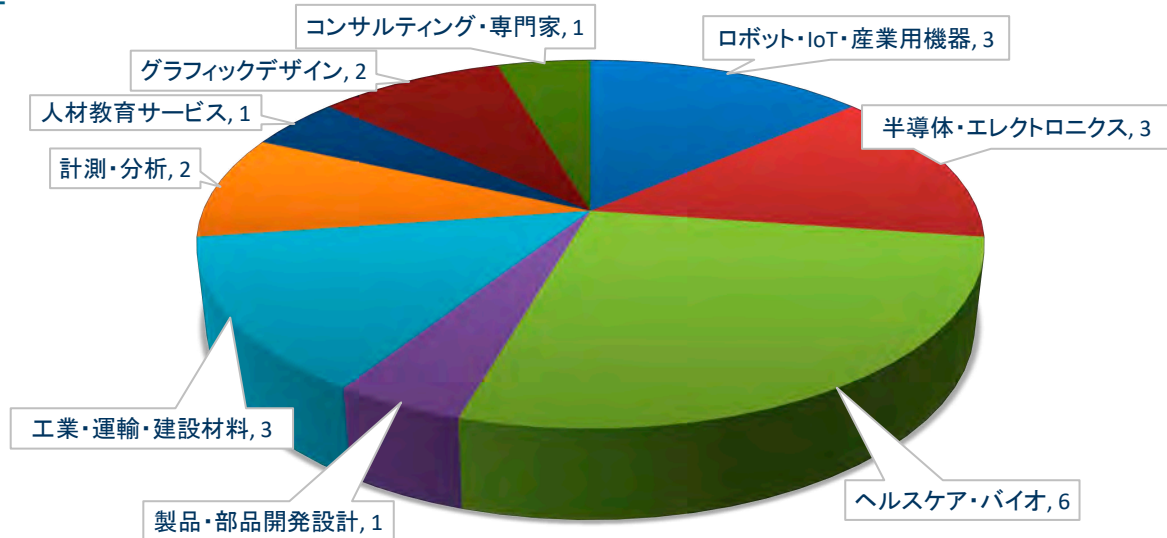


1-2-2

S I C - 2 Creation Lab.

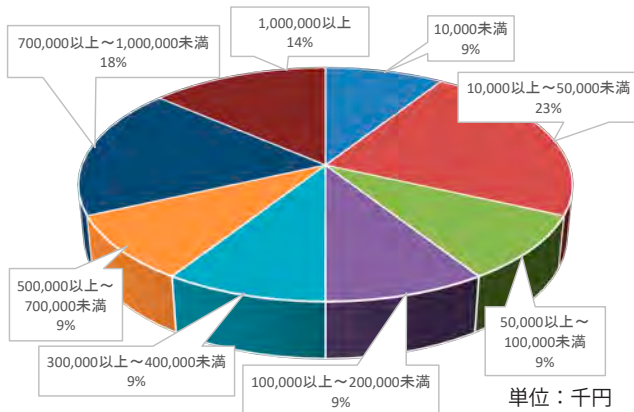
入居企業データ (令和4年3月末)

業種

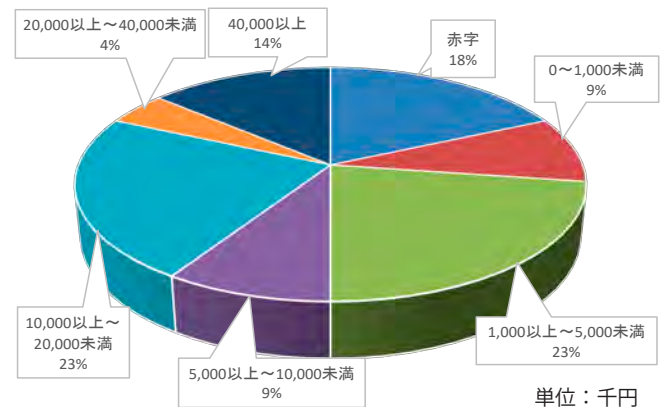


(数字は社数)

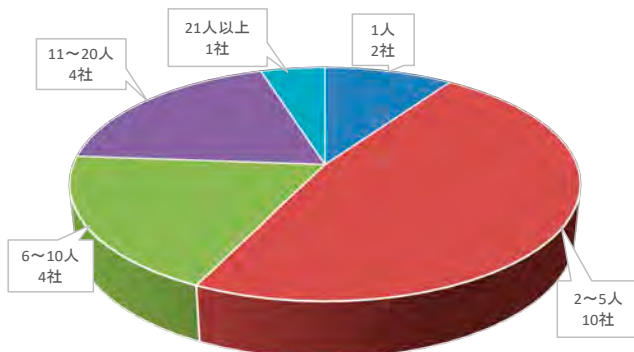
売上高



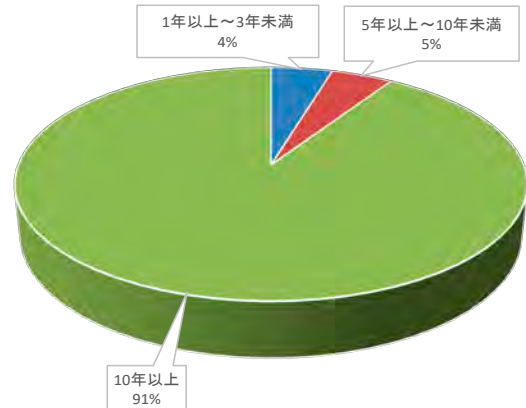
最終利益 (税引き後利益)



雇用



創業年数



売上高合計	25,127,317 千円
雇用者合計	21 社 158 人

1 - 2-3

SIC - 2 R&D Lab. (ポストインキュベーションセンター)

入居対象

<企業>

- ・インキュベーション施設での創業期を経て、さらなる規模拡大を目指す企業
- ・新技術や新製品の研究開発を進め、さらなる規模拡大を目指す企業
- ・新分野進出によりさらなる規模拡大を目指す企業
- ・企業の研究開発部門

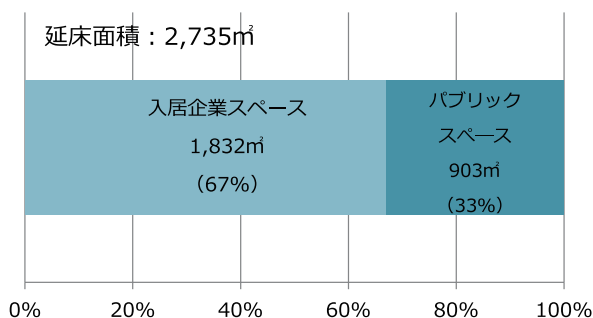
<産学連携企業等>

- ・大学や企業間の連携による事業化を目指して共同研究開発を行うグループ

入居期間

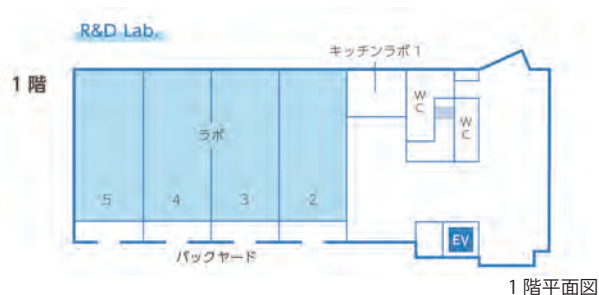
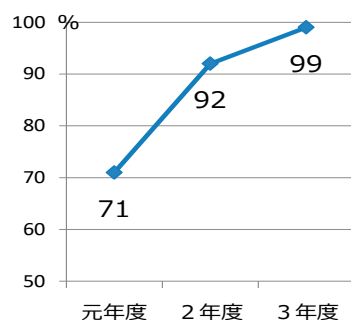
5年間（再契約可能）

施設概要

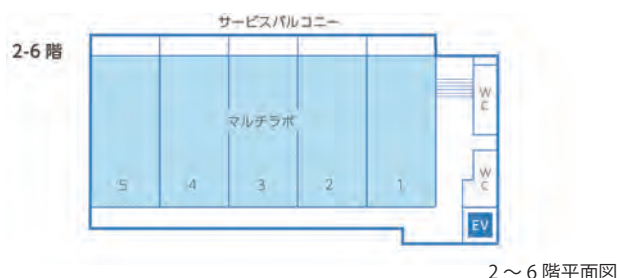


	ラボ	マルチラボ
設置階	1 階	2 ～ 6 階
部屋数	4 室	25 室
床面積	63.2㎡	63.2㎡

入居率 (賃料ベース)



1 階平面図



2 ～ 6 階平面図

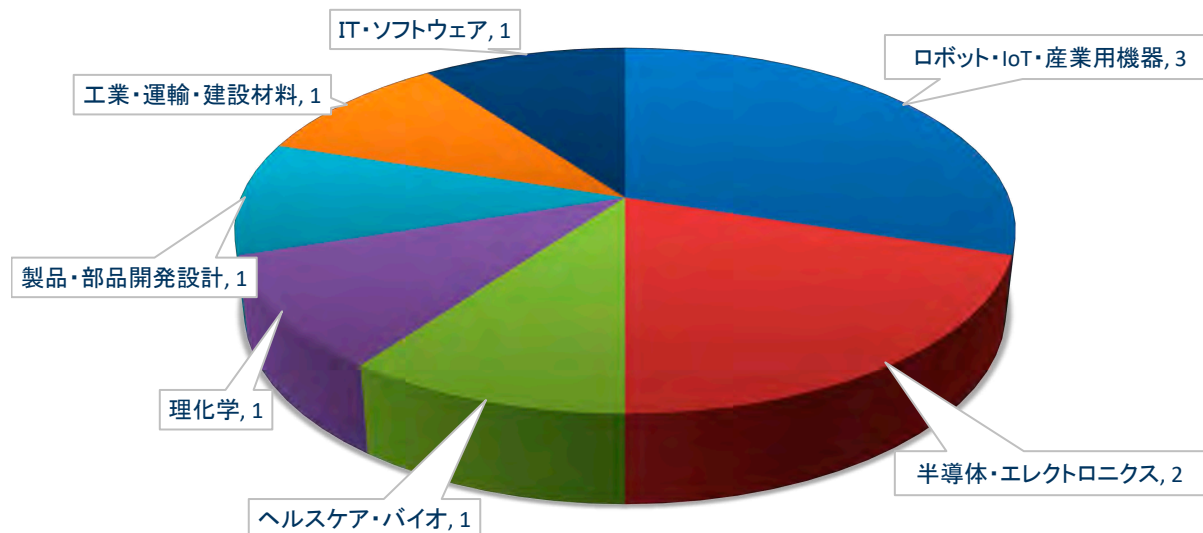


1-2-4

SIC - 2 R&D Lab.

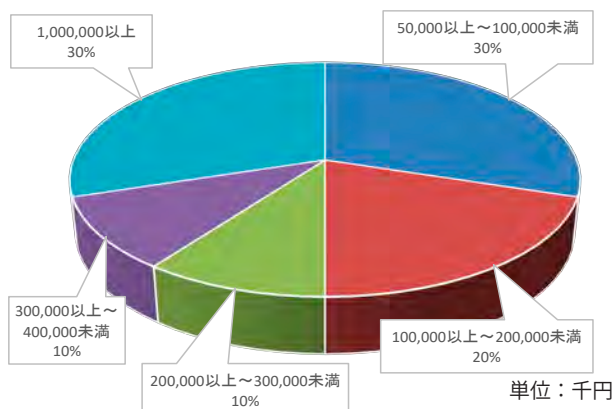
入居企業データ（令和4年3月末）

業種

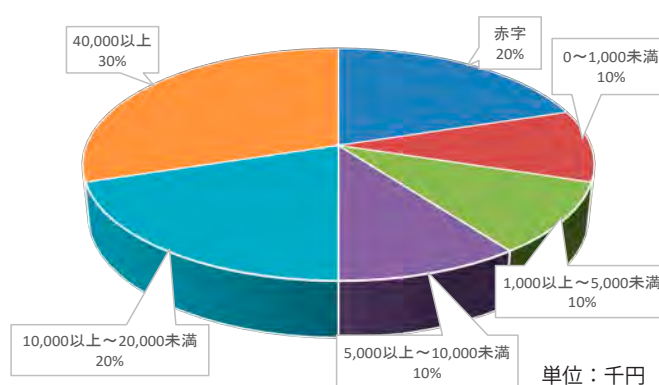


(数字は社数)

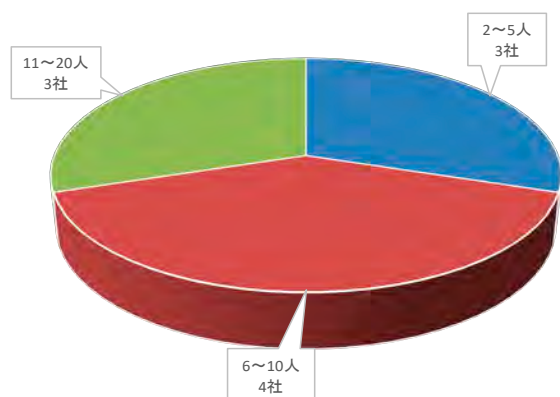
売上高



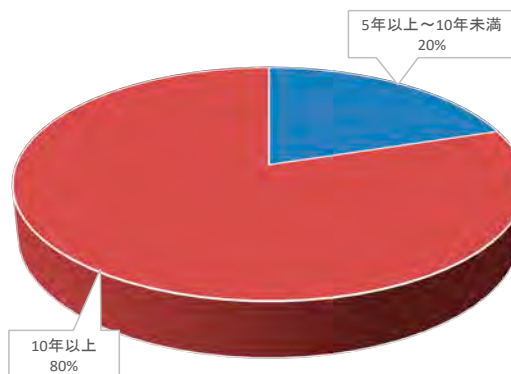
最終利益（税引き後利益）



雇用



創業年数



売上高合計 33,136,216 千円

雇用者合計 10 社 105 人

※上場企業除く

1-3-1

S I C - 3 Innovation Lab. (ポストインキュベーションセンター)

入居対象

<企業>

- ・インキュベーション施設での創業期を経て、更なる規模拡大を目指す企業
- ・独創的な技術により、更なる規模拡大を目指す地域の中小企業

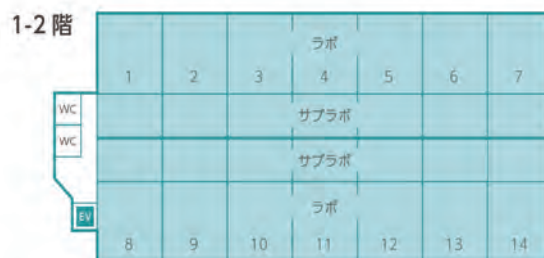
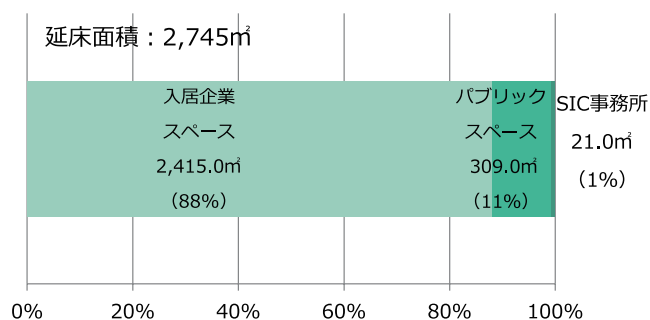
<産学連携企業等>

- ・大学や企業間の連携による事業化を目指して共同研究開発を行うグループ

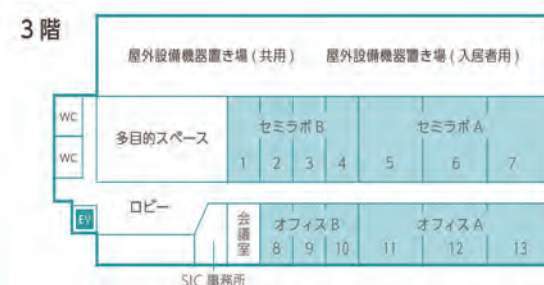
入居期間

5年間（再契約可能）

施設概要



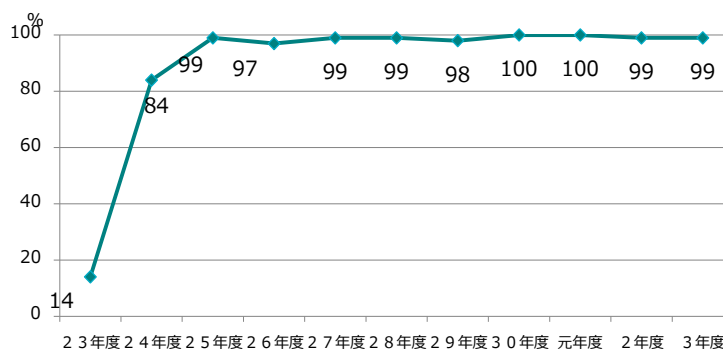
1 階, 中 2 階平面図



3 階平面図

	ラボ	セミラボ A	セミラボ B	オフィス A	オフィス B
設置階	1 階 : 中 2 階		3 階		
部屋数	14 室	3 室	4 室	3 室	3 室
床面積	84㎡ : 28㎡	56㎡	28㎡	42㎡	21㎡

入居率 (賃料ベース)

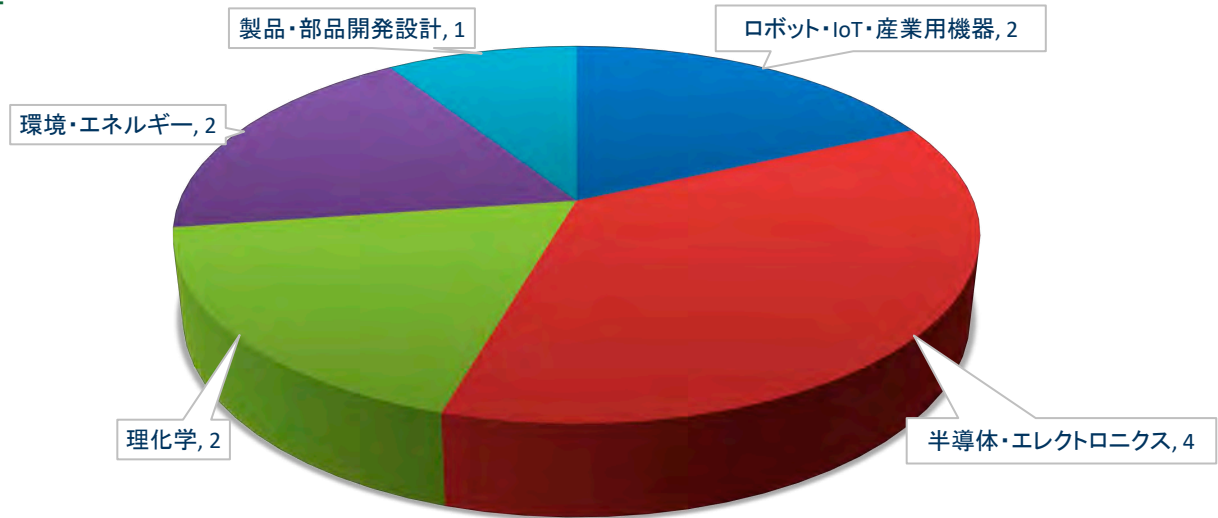


1-3-2

S I C - 3 Innovation Lab.

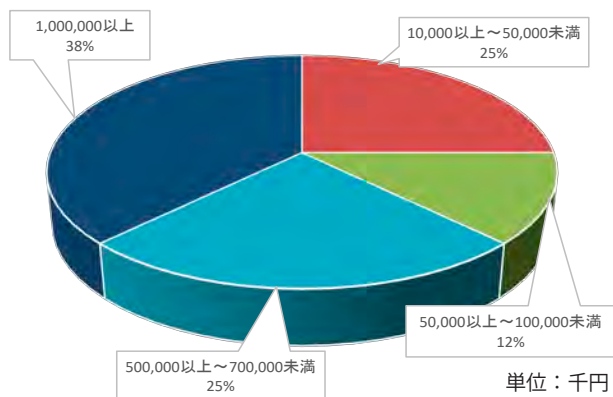
入居企業データ（令和4年3月末）

業種

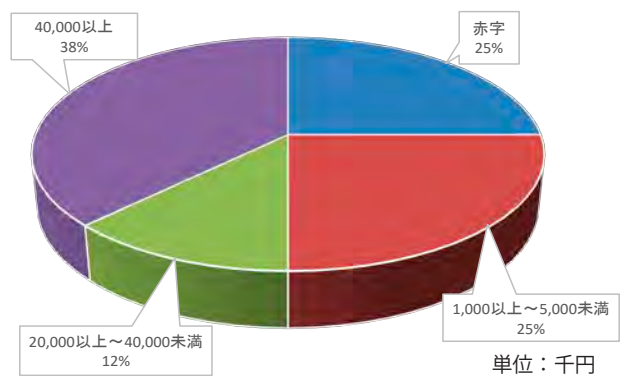


（数字は社数）

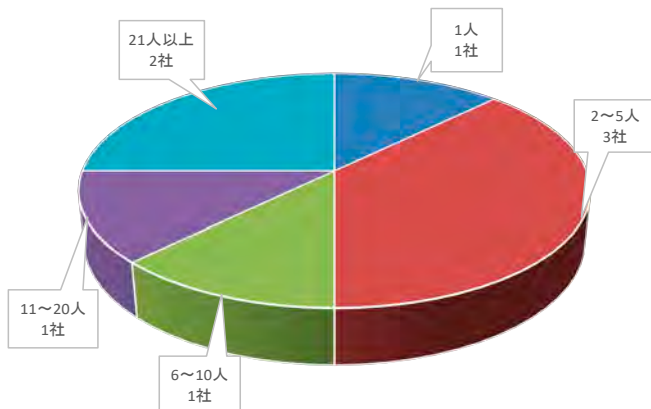
売上高



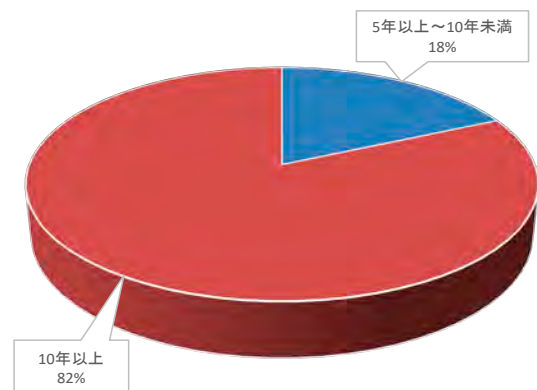
最終利益（税引き後利益）



雇用



創業年数



売上高合計	5,250,491 千円
雇用者合計	8 社 104 人

1-4

EN-Garege (創業者向けシェアサービス)

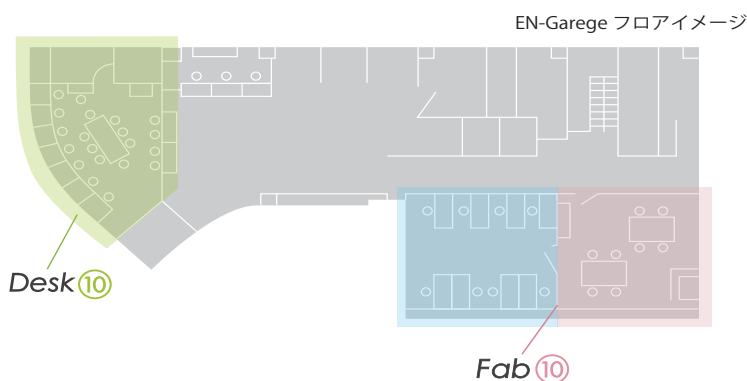
EN-Garege (エン・ガレージ) は創業者または創業準備者向けにビジネスの執務環境を提供するサービスです。

Desk ⑩

Desk ⑩はデスクワーク利用に最適で、オフィス環境をシェアすることでリーズナブルな料金となっています。リモートワークの場所としても利用可能です。

Fab ⑩

Fab ⑩ではものづくり環境を提供します。軽微な組み立てや評価・検査などのスペースとして、また、設計業務などを行うプランニングエリアも整えています。



Desk ⑩



Fab ⑩

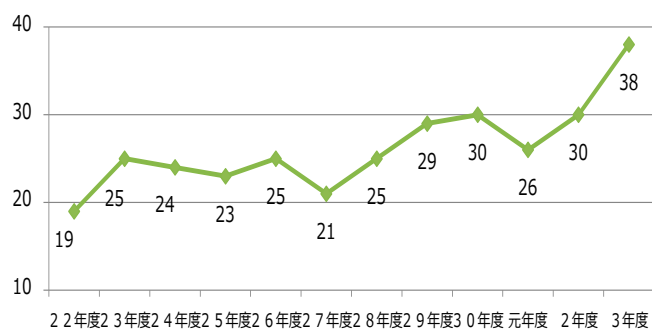
キッチンラボ

創業者向けシェアサービスの一環として“キッチンラボ”を運営しています。キッチンラボは、これから飲食店を開業を目指す方に短期間でのご利用が可能です。開業前のメニュー試作やオペレーションの試行をすることで、本格的な開業を円滑化させ、地域内の繁盛店創出に貢献します。

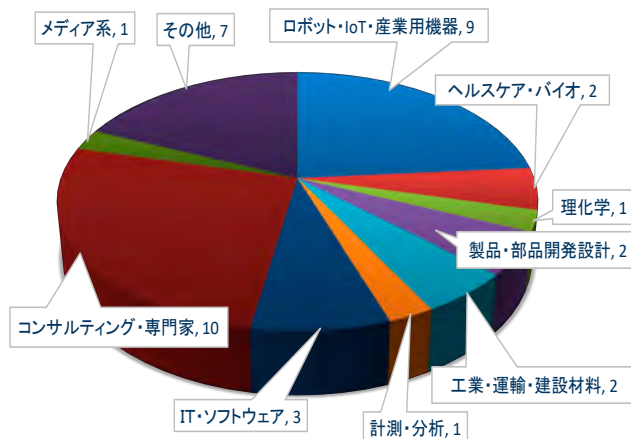


入居者数

者・人・企業



業種

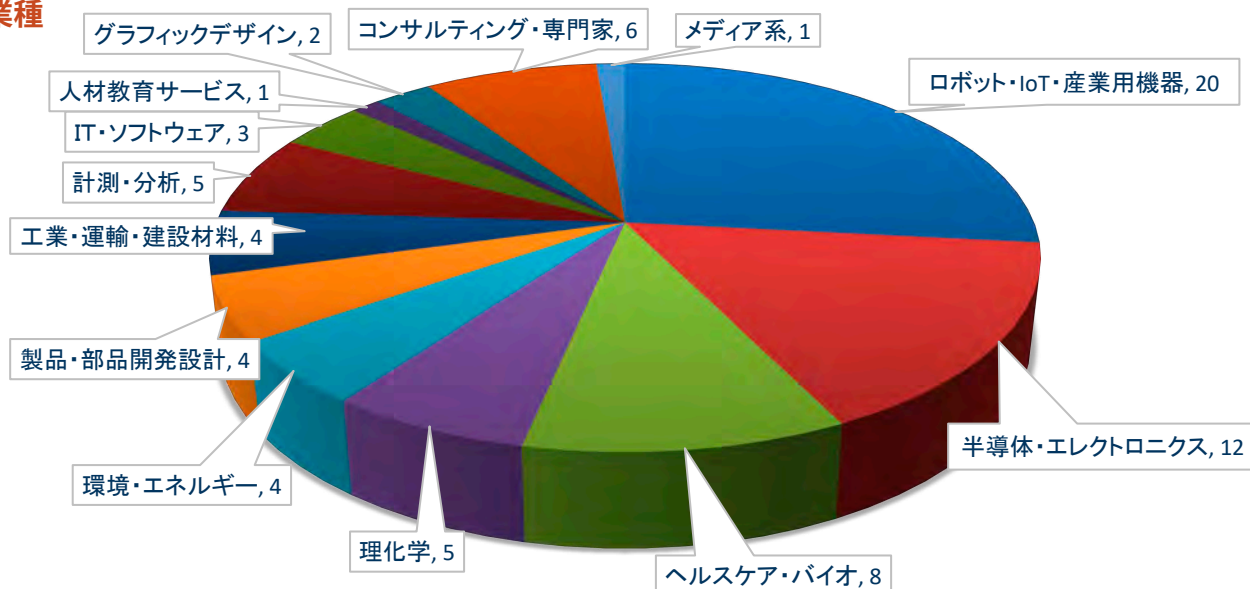


1-5-1

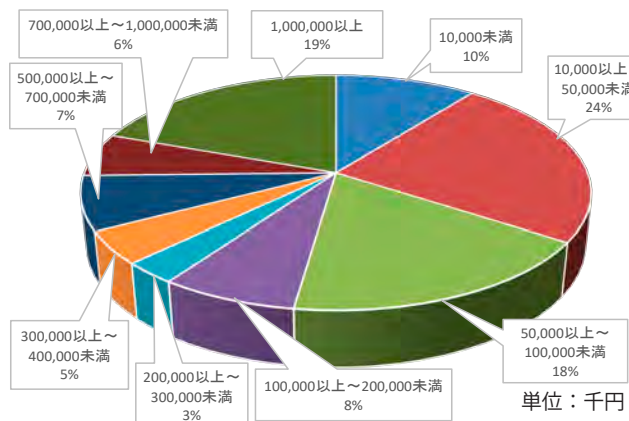
SIC全体

入居企業データ（令和4年3月末）

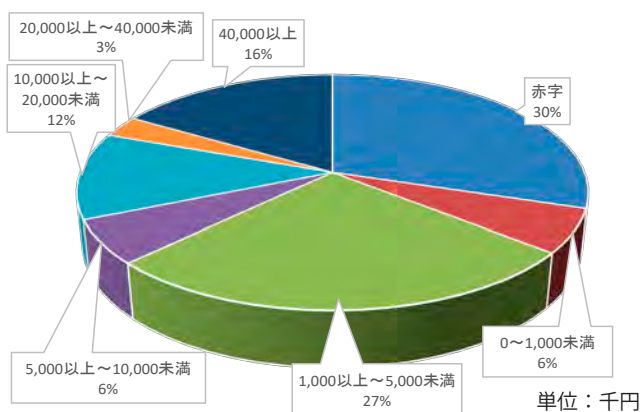
業種



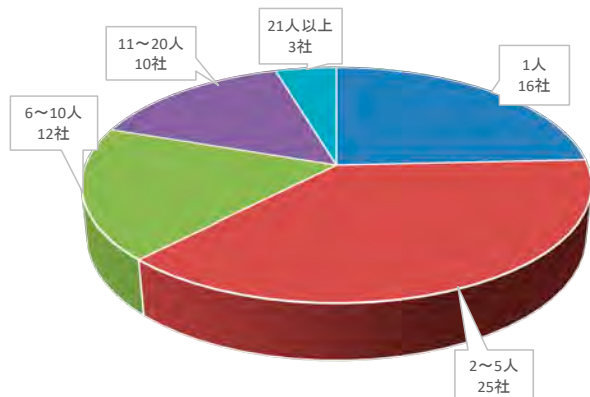
売上高



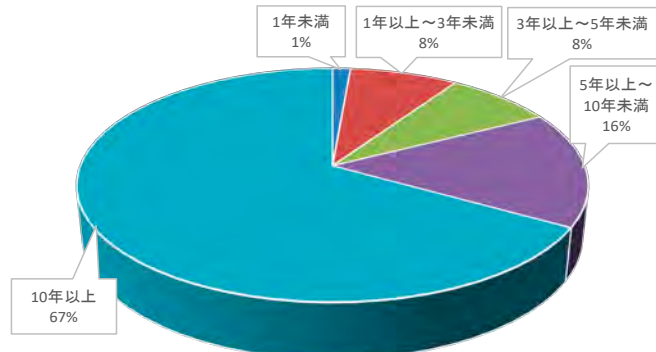
最終利益（税引き後利益）



雇用



創業年数



売上高合計 96,938,317 千円

雇用者合計 66 社 461 人

※上場企業除く

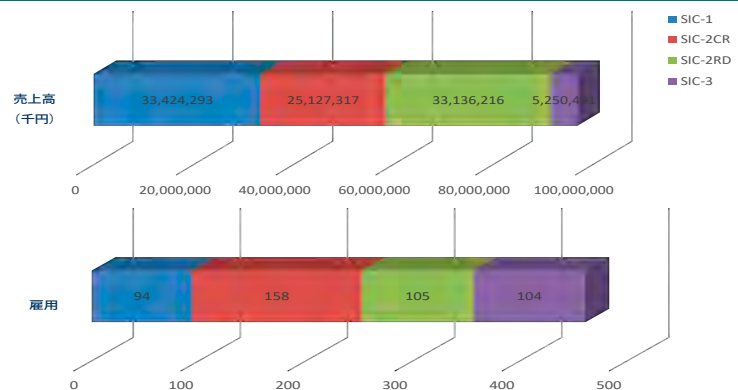
1-5-2

SIC全体

入居企業データ (令和4年3月末)

売上高 96,938,317 千円
(上場企業除く)

雇用 461 人



知的財産 (令和3年度内)

	特 許		実用新案		意 匠		商 標	
	企業数	件数	企業数	件数	企業数	件数	企業数	件数
出願数	12	32	0	0	1	2	3	7
うち海外	5	14	0	0	0	0	0	0
権利化数	7	13	0	0	0	0	4	14
うち海外	2	4	0	0	0	0	0	0

研究開発補助金◇展示会出展◇新製品・新サービス (令和3年度内)

研究開発補助金 11 社 14 件

相模原市コロナ対策・SDG s アクション補助 (パーティーション)、令和元年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金、令和2年度相模原市中小企業研究開発補助金、令和3年度 AI 等先端技術活用型研究開発支援事業費補助金、令和3年度相模原市中小企業研究開発補助金 (新型コロナウイルス関連型)、令和3年度地域復興実用化開発等促進事業費補助金、令和元年度補正・令和二年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金、令和3年度横浜市中企業新技術・新製品開発促進助成金、令和3年度航空機用先進システム実用化プロジェクト、令和元年度補正・令和二年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金、相模原市ロボットビジネス推進企業等集積促進事業、新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業、令和3年度中小企業経営支援等対策費補助金

展示会出展 (海外開催含む) 18 社 33 件

農業 Week2021、アグリビジネス創出フェア 2021、ユアサグラントフェア 2021、広島県スマート農業フェア、Drink Japan2021、関西ものづくりワールド 2021、第70回高分子学会年次大会<オンライン展示会>、第11回農業 Week、アグリビジネス創出フェア 2021、第5回関西農業 Week、第12回国際スマートグリッド EXPO、2022 国際ロボット展、InterBEE2021、2022 国際ロボット展 iREX Online、ろばいち、ロボット・航空宇宙フェスタふくしま 2021、第11回農業 Week、2022 国際ロボット展、食品開発展 2021、日本金属学科 2021 年春期大会・秋期大会オンライン展示、軽金属学会 2021 年春期大会・秋期大会オンライン機器カタログ展示、日本顕微鏡学会学術講演会展示、防犯防災総合展 2020、SECURITY SHOW2021、IoT & 5G ソリューション展、ワイヤレスジャパン 2021、国際画像機器展 2021、第39回モータ技術展、MT27 International Conference on Magnet Technology、産業交流展 2021

新製品・新サービス 17 社 26 件

小型多機能ロボット「DONKEY」、回転霧化式静電塗装機「ナノベル 805」、塗装トライアルと塗装アプリケーションのソリューション提案、クラウド環境構築/活用支援サービス、カスタムメイド AI 教育サービス、マイクロフォーカス X 線源「Micro Box」、New ワイヤレスインターカム、ヘッドセットインカム、リモカムシステム、(化粧品原料) エキス 1、Clarity EBSD 検出器、ネジフィーダー「PRO-FEEDER」、動画サイト「解析ノウハウ .com」、協働ロボット「GoFa(CRB15000)」、協働ロボット「SWIFTI(CRB1100)」、汎用ロボットベース、ドライ掃除ロボット、黒変性に優れた ZAM 用耐指数用処理剤 (BAO STEEL)、SRT 搭載 H.265 小型エンコーダ TBS2603se、最大 480W 電圧調整機能付 AC/DC コンバータ SDR-480-48、洗車機用洗剤ワックス、ガソリン・軽油添加剤、自動車用手がけポリマー剤、光ファイバー用光源装置「SLG-150V-X」、リアルタイム異物検出装置、再販・リセール事業「SAPO+」

2-1

経営サポート

企業支援

事業の目的

創業や新分野進出に意欲的な入居企業や地域企業の様々な経営課題を解決する。

▶ 経営課題支援の内容

対 象：入居企業・地域企業

支援手法：インキュベーションマネージャーとメンター、アドバイザー、専門家等が連携した支援

協力機関：きらぼし銀行

支援契約数：業務委託契約 22 社、顧問契約 13 社（入居企業 9 社、地域企業 4 社）

支 援 内 容		入 居 企 業 数	地 域 企 業 数	計
顧問契約		9 社	4 社	13 社
業務委託契約	Web 制作・動画制作・デザイン支援	1 社	3 社	4 社
	特許・商標等取得	1 社	1 社	2 社
	製品・技術開発支援	1 社	—	1 社
	生産性向上支援	—	5 社	5 社
	販路・パートナー探索	2 社	3 社	5 社
	人材育成支援	—	1 社	1 社
	経営計画策定支援	—	1 社	1 社
	経営法務関連支援	2 社	—	2 社
	補助金申請サポート	—	1 社	1 社
	業務委託契約 小計	7 社	15 社	22 社
合計		16 社	19 社	35 社

2-2

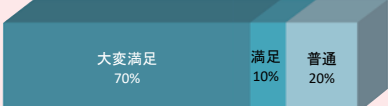
経営サポート

セミナー

事業の目的

入居企業や地域企業に経営のヒントを提供する。

対 象：入居企業・地域企業

実施事業	参加人数	具 体 的 内 容
経営者セミナー	51 名	テーマ：売上を 20 倍にして債務超過から脱却 2 代目経営者の変革への挑戦！ ～「いい商品なら売れるはず」では売れない～ 講 師：株式会社静科 代表取締役 高橋 俊二氏 日 時：令和 3 年 12 月 2 日（木） 場 所：オンライン開催 
ミニセミナー	14 名	The HINT 51 テーマ：相模原市 中小企業研究開発補助金 説明会 講 師：相模原市 産業支援課 日 時：令和 3 年 6 月 7 日（月） 場 所：オンライン開催 ※説明会形式のため、アンケートは実施せず
	17 名	The HINT 52 テーマ：失敗しない“人材採用”ここでもしか聞けない採用活動のポイント 講 師：株式会社マイナビ 支社業務推進担当 綿貫 哲也 氏 日 時：令和 3 年 8 月 26 日（木） 場 所：オンライン開催 
	8 名	The HINT 53 テーマ：融資事例 & 現場の生の声で知る！日本政策金融公庫の“創業・新事業支援” 講 師：日本政策金融公庫 国民生活事業本部 南関東創業支援センター 所長 辻井 拓也 氏 中小企業事業本部 新事業室 新事業・ベンチャー支援推進第二課 上席課長代理 金田 洋之 氏 日 時：令和 3 年 12 月 9 日（木） 場 所：オンライン開催 
	11 名	The HINT 54 テーマ：4 月から中小企業でも義務化!! パワハラ防止対策のポイント 講 師：神奈川県 かながわ労働センター 県央支所 日 時：令和 4 年 3 月 15 日（火） 場 所：オンライン開催 

2-3

経営サポート

さがみはら表面技術研究所

事業の目的

地域企業と大学・研究機関の連携・交流機能を整備・運用し、企業の技術的な強みを活かした事業開発に貢献する。

▶ 活動実績

活動内容
1 補助金申請支援・事業化フォローアップ等
2 技術支援・コーディネート等



▶ 活動実績 事例

1. 補助金申請支援・事業化フォローアップ等

- ① ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金（令和元年度補正・中小企業庁）では、各中小企業向けに事業計画立案から関わり、申請書の作成指導まで一貫した支援を行った。また補助事業採択後には、事業進捗アドバイスや補助事業完了後のサポートに至るまで、多岐にわたる業種の中小企業に対して支援を行った。
- ② ものづくり補助事業終了後の事業者へ事業化相談や事業化状況報告の支援を行った。
- ③ 先端設備等導入計画申請についての相談・申請支援を多岐にわたる業種の中小企業に対して行った。
- ④ 事業継続力強化計画申請についての相談・申請支援を多岐にわたる業種の中小企業に対して行った。
- ⑤ 令和3年に新設された事業再構築補助金では、申請に向けての相談対応の他、各中小企業向けに事業計画立案から関わり、申請書の作成指導まで一貫した支援を行った。また補助事業採択後には、事業進捗アドバイスや補助事業完了後のサポートに至るまで、多岐にわたる業種の中小企業に対して支援を行った。



2. 技術支援・コーディネート等

- ① 関東甲信越の事業者を中心に、製菓事業者の生産性向上を高めるために、機械化の促進と新規商品の企画開発を推進した。
- ② 大規模集合住宅向けの施工工法について、建設技術審査証明取得のための申請支援及び新施工法のマニュアル作成作りの支援を行った。
- ③ 北海道における冬季期間中の土地の有効活用等新事業について、現地事業者を交えての事業化アドバイスをを行った。
- ④ 当所のシェアラボに、研究開発型事業者が保有する分析装置の設置・活用を支援し、生産性向上に寄与した。
- ⑤ 入居企業の危険物等安全管理についてヒアリング・現場確認を行い、アドバイスをを行った。
- ⑥ オンラインを活用し、ものづくり・サービス等様々な事業者へ新規事業のためのアドバイスをを行った。



2-4

経営サポート 海外展開支援事業（台湾ビジネスサポート事業）

事業の目的

地域企業が継続的に発展するために海外展開をサポートする。海外へ比較的強い販売力を持つ企業が多く、日本とのビジネスの実績が十分にある「台湾」で、或いは台湾経由による他の国々でビジネスを発展・成長させていく。

事業内容

個別支援

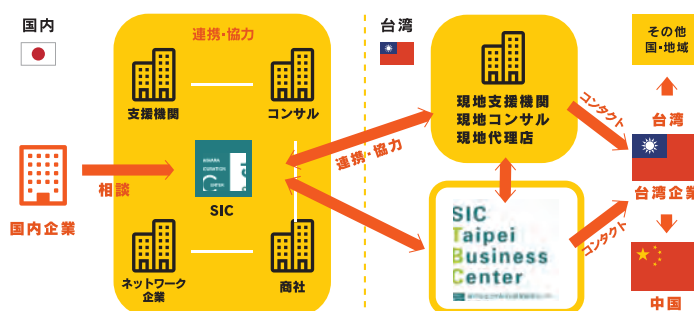
- ・再生エネルギー供給装置の台湾 OEM メーカー探索による台湾調達相談
- ・半導体製造用治工具の台湾 OEM メーカー及び台湾商社探索による台湾調達相談
- ・EV 向け充電関連設備の台湾メーカー探索による台湾調達相談
- ・EV 向け制御機器の台湾メーカー探索による台湾調達相談
- ・食品製造装置の台湾代理店探索による台湾販路開拓相談
- ・電子部品の台湾商社探索による台湾販路開拓相談
- ・日用雑貨の台湾代理店経由による台湾販路開拓相談
- ・英文契約書リーガルチェック相談
- ・PR ツールの中国語翻訳相談
- ・支援機関経由にて日本企業 5 社台湾ビジネスサポート相談

顧客の声

- ・受託開発や OEM 生産、販路開拓など受発注先が見つかった。
- ・大手企業との提携を実現できた。
- ・海外現地法人を設立するきっかけづくりになった。
- ・素早い意思決定や行動力とそれを実現する組織づくりの重要性を知った。
- ・自社の技術や製品が海外でも十分に通用することが分かった。

運営体制

SIC では、国内の支援機関や商社、ネットワーク企業等の連携や協力だけでなく、『SIC 台北ビジネスセンター』による独自のネットワークを活用し、台湾現地の支援機関やコンサルティング会社、代理店との連携・協力を行いながら、支援体制を構築している。



2-5-1

プロジェクト

産業用ロボット導入支援事業

事業の目的

製造業やその他業種へのロボット導入を支援するとともに、ロボット産業に関連した人材や企業のさらなる集積と高度化を図りながら、相模原市内企業の生産性及び付加価値の向上を実現するために実施している。



概要

(1) さがみはらロボット導入支援センターの運営

「産業用ロボットの紹介やロボット導入の相談」などを行う場として、「さがみはらロボット導入支援センター」の運営を行った。

○来所者実績

269 団体・831 名

※累計実績（平成 25 年 9 月～令和 4 年 3 月）

2,254 団体・6,404 名



(2) 自動化相談・コンサルティング

自動化・ロボット導入等を通して課題解決を検討している企業からの相談業務を実施した。

○相談件数

51 件（うち 窓口相談 28 件、出張相談 23 件）

(3) 生産プロセス改善講座「ケーススタディで学ぶ!! 物流 DX のポイント」

製造業や物流業等のロボットユーザ企業を主な対象として、相模原市内で増えている物流拠点や製造業の工場内物流等における DX 化をテーマに、エンジニアの育成や DX 化等に関する啓発を目的とした講座を実施した。

○開催概要（受講者：12 社・14 名）

日 時：令和 3 年 11 月 24 日（水）10 時～17 時

会 場：サン・エールさがみはら（2 階・第 1 研修室）

内 容：物流の生産性向上とコスト管理、物流システム設計

講 師：株式会社日本能率協会コンサルティング

サプライチェーン革新センター シニア・コンサルタント 広瀬 卓也 氏



2-5-2

プロジェクト

産業用ロボット導入支援事業

(4) ロボットSler養成講座（受講者数：9社・11名）

ロボットシステムの構想・設計・製作等を担うSler企業を主な対象として、実際の自動化案件を題材とした実践的なプログラムによりSlerに求められる構成力や提案力、専門性を磨くことを目的とした講座を実施した。

○開催概要

期 間：令和3年10月18日（月）～令和3年12月17日（金）

場 所：【前期】サン・エールさがみはら 【中期・後期】オンライン（Zoom）

内 容：

	テーマ	講 師
事前講義①	付加価値に着目したシンプルな設備設計	青山学院大学 教授 松本 俊之 氏
	ロボット Sler のための安全講座	日本認証株式会社
前期	オンライン時代の戦略的ヒアリング力と発信力	株式会社スタンコミュニケーションズ
	事前講義① Q&A	
	現場実習・グループワーク	
中期	Sler ケーススタディ Part.1 - 食品	JET 株式会社
	Sler ケーススタディ Part.2 - マテハン -	三明機工株式会社
	グループワーク中間発表	
事前講義②	協働ロボット最新動向	IDEC ファクトリーソリューションズ株式会社
	AI・画像処理の活用講座	日本サポートシステム株式会社
後期	事前講義② Q & A	
	実習先企業へのリモートヒアリング	
	グループワーク最終発表	

(5) タイアップセミナー

ロボット本体およびロボット周辺機器等の実機を用いた実践的な講座を通して、体系的な製品・技術知識や具体的な操作・活用方法等を習得することにより、自動化・ロボット導入を後押しすることを目的に、ロボットメーカーや各種機器・部品メーカー、ロボットシステムインテグレータ、商社などとタイアップしてセミナーを開催した。

○開催概要

	テーマ	協賛企業	参加者
1	アイエイアイ EC キャラバンカー展示会	株式会社アイエイアイ	3 名
2	実践!!「空気圧」入門セミナー	SMC 株式会社	8 名
3	液体材料の塗布工程自動化	武蔵エンジニアリング株式会社	5 名
4	最新協働ロボット 操作体験セミナー	ダイドー株式会社	8 名
5	ロボットシステム 改善・リニューアルのすすめ	三菱電機システムサービス株式会社	10 名

2-5-3

プロジェクト

産業用ロボット導入支援事業

(6) ロボット産業・ビジネス勉強会

シニアアドバイザーである佐藤知正氏（東京大学 名誉教授）を交え、相模原市におけるロボット施策やロボット産業・ビジネスに関する研究会・勉強会を実施した。

○開催実績

10 回開催（うち 1 回は拡大版として広く参加者を募り開催した）

※ロボット産業・ビジネス勉強会（拡大版）「シリコンバレーと米国におけるロボット最新事情」

日 時：令和 4 年 3 月 18 日（金）10 時 30 分～12 時

会 場：オンライン開催

内 容：講演「シリコンバレーと米国におけるロボット最新事情（～定点観測）」
ディスカッション「シリコンバレーや米国のロボット事情を相模原で活かすには？」

講 師：ジャーナリスト 瀧口 範子 氏
東京大学 名誉教授 佐藤 知正 氏

(7) その他

① テレビ取材

TBS「まちづくり夢づくり PART2」（令和 3 年 11 月 28 日放送）

② イベント出展（ロボット展示）

京王電鉄株式会社主催「ロボット大集合！ in アリオ橋本」（令和 3 年 12 月 5 日開催）

イベントの様子



③ メディア掲載

- 日刊工業新聞「さがみはらロボ支援センター、ロボ Sler 講座の参加者募集」（令和 3 年 9 月 30 日掲載）
- ロボットダイジェスト「Sler 養成講座を開催 / さがみはら産業創造センター」（令和 3 年 10 月 4 日掲載）
- ロボットダイジェスト「啓発からより実践的な支援へ / さがみはらロボット導入支援センター」（令和 4 年 1 月 24 日掲載）
- 月刊生産財マーケティング『紙のロボダイ』「啓発から実践的な支援へ / さがみはらロボット導入支援センター」（令和 4 年 3 月 1 日掲載）
- ロボットダイジェスト「遠隔操作技術の活用セミナーを開催 / さがみはら産業創造センター」（令和 4 年 3 月 31 日掲載）

④ 情報発信

ロボット導入支援センターの情報発信として、WEB サイトによる情報発信やメールマガジンの配信などを行った。

○メールマガジン購読者数

1,130 名（令和 4 年 3 月 31 日時点）

2-6

プロジェクト

D X化促進支援事業

事業の目的

ロボット・A I・I o Tを活用した自動化や非接触化を進めることで、将来的なD X化に向けた契機とするとともに、市内企業の受注機会の創出及び地域経済の活性化を図る。



概要

(1) 相模原市D X化促進支援補助事業

市内企業のロボットやA I、I o T等を活用した自動化や非接触化の取り組みを支援するための補助制度の市内企業への事業周知及び補助金に係る事務（意見交換会、ヒアリング等）、D X化に向けた支援等を実施。

○情報提供：54社

○事業者ヒアリング：41社



(2) D X化推進フォーラム

テーマ：中小企業のデジタル活用

開催日：令和4年12月6日（月）

会場：オンライン開催

参加者：60名

内容：

1. 基調講演

「D Xによる“稼ぐ力の鍛え方”及び関連支援策について」

経済産業省 関東経済産業局 地域経済部 デジタル経済課

2. ベンダーによるD Xの考え方・ソリューション紹介

「繋がる製造業～現場D Xのシンプルな始め方～」

株式会社L i n k W i z 代表取締役 吹野 豪 氏

3. 飲食・サービス業におけるD Xの考え方・事例紹介

「自身の経営する飲食店における D X 推進事例」

T I T C 合同会社 代表社員 富田 良治 氏

4. ユーザー企業の導入事例紹介

「オーセンテックにおけるD X・I o Tの推進

～新たな営業手法の展開と新製品・サービスの紹介～

オーセンテック株式会社 代表取締役社長 高田 全 氏



2-7

人材育成

SIC 経営塾

事業の目的

先端的なケーススタディを通じ、経営の理論と実践を学び、塾生自らが事業構想を再構築することにより、「真の経営力」を養成することを最終目的とする。

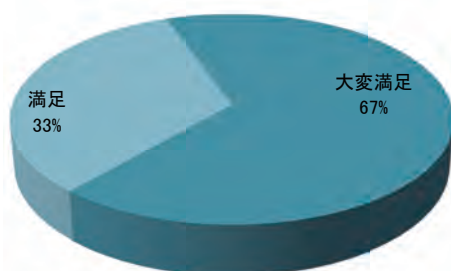
▶ 受講生

- ・ 8名 累計 189名
- ・ 次世代の経営者や経営幹部

▶ 聴講生

- ・ 2名 累計 37名

▶ 顧客満足度



▶ 受講生の声

- ・ 最初は、場違いのところに來てしまったと思いましたが、みなさん温かく、受講できてよかったと思いました。
- ・ 事業構想を作るという作業的な面だけでなく、意義・考え方を教えていただき、非常に参考になった。
- ・ 経営に今まで携わってこなかったので、経営の考え方や単語の意味（特に財務）を得ることが出来ました。毎回の講義で丁寧に説明していただき、ありがとうございます。今後は、得た知識、まとめた事業構想を基に、業務に生かしていきたいと 思います。
- ・ 今回の講習は、私にとって、仕事をしていくうえで、大変、刺激になり勉強になりました。社長の気持ちも少しは理解できたかなと思います。会社を大きくくりで見て、会社がもっと好きになり、会社に貢献しようと思えました。
- ・ 講義を受ける前は、経営に対する意識が低く、他の受講生様の熱量に、毎回圧倒されました。講義を受けた現在、少しですが経営に対する意識が高くなりました。8カ月間、お世話になりました。ありがとうございます。
- ・ 様々な業種・企業の方々の事業構想を聞くことができ、色々な課題やそれに対する改善策を知る事ができ、大変、参考になりました。事業計画を作るうえでの経営者の想い、苦労を見ることができました。会社の経営方針・理念を今一度見直し、自分なりに理解したいと感じました。

▶ 活動内容

講 義

最先端の経営理論を学びます。

- 先端企業経営者の実体験や様々な先進的な取り組み事例を通して最新の経営理論と実例を学び、自社の課題に置き換えて検証します。
- 課題図書、事例研究を基に、異業種の方々と議論が自社を見つめ直し、自社の事業構想を構築する良い機会となります。



討 論

塾生、コーディネータとの討議を重視します。



事業構想の再構築

最終ゴールは自社の事業構想の再構築です。

- 実証的な研究や討論を通じ、自社を客観的に見つめ直し事業構想を策定し、自社における「NEXT STAGE」を考えます。



■カリキュラム：

回	課題シート・講義内容
1	オリエンテーション
2	わが社の経営の現状を語る
3	現状を分析する①（外部環境・内部環境）
4	現状を分析する②（財務状況）
5	存在意義を問う
6	コアコンピタンスを定義する
7	戦略シナリオを考える
8	組織文化の変革を仕掛ける
9	事業構想を打ち出す
10	わが社の経営の将来を語る

2-8

人材育成

SIC 職場リーダー養成塾

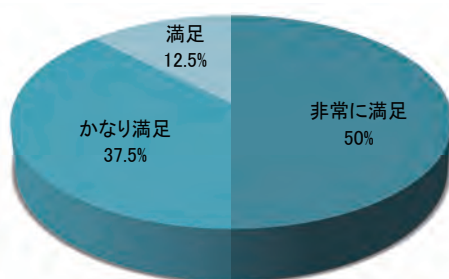
事業の目的

地域企業の中堅層の職場リーダーに対して、業種の異なるリーダーとの他流試合やコミュニケーション研修、社内実践による職場の課題解決を通して、職場リーダーとして求められる「組織で成果を出す力」を養成する。

▶ 受講生

16名 累計 238名

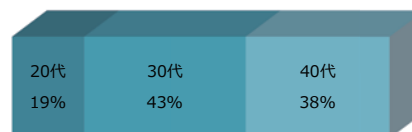
▶ 顧客満足度



▶ 受講生の声

- ・ 他人の意見を聞く機会が少ないので有意義だった
- ・ 自分に足りないものが学べた
- ・ コミュニケーション、プレゼンのスキルアップになった
- ・ 色々アドバイスをもらえ、仕事に活かしやすかった
- ・ 周りを巻き込み行動計画を立てながら課題を達成する事を身に付けた
- ・ 他社の方との交流の中で視野を広げることができた

▶ 受講生の年齢構成



▶ カリキュラム

	開催日	内容
	4月中旬～5月中旬	事前ヒアリング
第1回	令和3年6月5日(土)	オリエンテーション・職場のコミュニケーション①
第2回	令和3年6月16日(水)	課題解決の枠組みを理解する
第3回	令和3年6月28日(月)	職場の問題を抽出する
第4回	令和3年7月7日(水)	
第5回	令和3年7月12日(月)	職場のコミュニケーション②
第6回	令和3年7月28日(水)	職場の課題解決の枠組みを検討する(問題把握、課題設定、目標設定、対策検討、行動計画)
第7回	8月下旬	課題解決取り組みフォロー個別指導
第8回	令和3年9月15日(水)	職場の課題解決の枠組みを決定する
準備期間	9月中旬～下旬	社内実践準備期間
実践期間	10月～11月	社内実践期間(2ヶ月間)
第9回	令和3年11月10日(水)	プレゼンテーションを学ぶ
第10回	令和3年12月8日(水)	成果発表会



2-9-1

人材育成

『子どもアントレ』『アントレ・チャレンジ』

事業の目的

『子どもアントレ』

小学生を対象に初めて出会う仲間と会社設立から決算までの会社経営のプロセスを疑似体験することで、以下のようなことを学ぶ。

- | | |
|----------------------|-------------------|
| (1) 会社や経済の仕組みを知る | (4) チームワークの大切さを知る |
| (2) 失敗を恐れずに挑戦できる心を養う | (5) お金の大切さを実感する |
| (3) 自分の考えで行動できる力を養う | |

『アントレ・チャレンジ』

プロジェクト（子どもアントレ）の企画・運営（仕事体験）を通じて、以下のことを学ぶ。

- (1) 起業家精神（チャレンジ精神、創造性等）および主体性を涵養する。
- (2) 経営者との交流、社会人の思考や行動を知ることなどを通じて、将来（キャリア）を考えるきっかけとするとともに、社会人としての心構え、あるべき姿を学ぶ。

▶ 令和3年度の実践内容

1. 実行委員会

産業、教育、行政の各界のメンバーによって構成。

昨年度の実行委員会において整理された課題と対応方針、およびアントレ・チャレンジ17期生（以下、17期生）からの提言等を踏まえ、来年度の開催方法、開催時期、プログラムなどについて協議・検討を行った。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 第1回、令和3年 4月 27日 | 第5回、令和3年 11月 2日 |
| 第2回、令和3年 6月 4日 | 第6回、令和3年 12月 14日 |
| 第3回、令和3年 8月 18日 | 第7回、令和4年 2月 25日 |
| 第4回、令和3年 9月 21日 | |



実行委員会の様子

また、本事業は、多くの地元企業からの協賛により支えられているため、17期生や多くの地元学生に社会貢献活動に積極的な地元企業の魅力を伝える機会として、10月3日（日）に地元企業と学生の交流会を開催した。

【交流会の様子】



経営者による自社紹介



名刺交換会①



名刺交換会②



フリートーク

2. 子どもアントレ

新型コロナウイルス感染症の感染状況、社会状況などを踏まえ、昨年度に引き続き開催を見送った。

2-9-2

人材育成

『子どもアントレ』『アントレ・チャレンジ』

3. アントレ・チャレンジ

昨年度の実行委員会において整理された課題と対応方針に基づき、その具体策について 17 期生 3 名が協議・検討し、実行委員会に提言した。

提言とりまとめにあたり、これまでの子どもアントレやアントレ・チャレンジに対する理解を深めるとともに、想定される活用ツールやその活用策などについて 3 回に亘って研修を行った。

研修のテーマは次のとおり。

第 1 回：SNS 活用のメリット・デメリットについて

第 2 回：クラウドファンディングを成功に導くためのポイントについて

第 3 回：コロナ禍による学習環境の変化と IT を利用したプログラム検討のポイントについて

提言内容は次のとおり。

第 3 回実行委員会（8 月 18 日開催）

テーマ：アントレ・チャレンジの受講者確保について

提言内容：SNS を活用した認知度向上

子どもアントレ参加者とのコミュニケーションの増加

第 4 回実行委員会（9 月 21 日開催）

テーマ：事業資金の安定化について

提言内容：地元商店街との連携

クラウドファンディングの活用

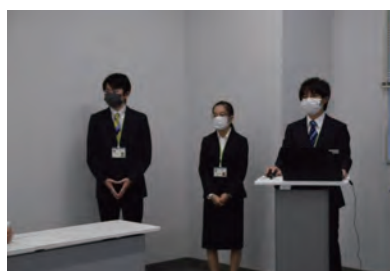
第 5 回実行委員会（11 月 2 日開催）

テーマ：新型コロナウイルス感染症への対応について

提言内容：子どもアントレプログラムの見直し



実行委員会での提言の様子①



実行委員会での提言の様子②



修了証授与

【参考：子どもアントレの歴史・実績】

平成 13 年（2001 年）8 月、第 1 回子どもアントレを開催

令和 2 年（2019 年）8 月、第 19 回子どもアントレを開催

修了者は 833 名

【参考：アントレ・チャレンジの歴史・実績】

平成 16 年（2004 年）5 月、第 1 回アントレ・インターンシップ（現アントレ・チャレンジ）を開催

令和 3 年（2021 年）7 月、第 17 回アントレ・チャレンジを開催

修了者は 146 名

2-10

人材育成

サガツクナビ（地元企業と学生との出会いをつなぐ）

事業の目的

“地元企業の採用の円滑化”と“地元で働きたい学生の就職の円滑化”を目指して、神奈川県県央地域、東京都多摩地域をフィールドに定め、地元企業の魅力を伝えるイベントとインターネットでの企業情報発信の両輪で地元企業と学生の出会いの場を創出し、新卒採用（就職）のサポートをする。

実績

サガツクナビサイトへのアクセス状況：セッション数 16,650、訪問ユーザー数 12,697、ページビュー数 55,037 ページ

メールマガジン配信回数 60 回（受信者総数 7,217 名：学生 3,412 名、教職員 1,285 名、企業 2,520 名）

合同就職説明会 4 回開催、企業 12 社

個別相談会 学生 19 名（相談回数 77 回）

企業と学生（教職員）の相互理解サポート 9 回開催、企業 26 社、学生 212 名、教職員 8 名

情報発信

ウェブサイトやメルマガなどによる情報発信

- ① サガツクナビサイトにて地元企業やイベント情報などを発信
- ② メールマガジン「サガツクナビ通信」の配信
- ③ Facebook、Instagram、YouTube での情報発信



イベント

<採用&就活サポート>

- ① ジョブミーツ（サレジオ高専（合同就職説明会）、麻布大学（オンライン配信））
- ② ジョブサポート（充実した就職活動となるよう就活生等に対する個別相談会）

<企業と学生（教職員）の相互理解サポート>

- ① KAIMAMI シリーズ（自分の知らない世界を垣間見る）
 - ・ 地元企業・相模原市役所と地元学生との交流会
 - ・ 専修大学ゼミでの講演会（国際協力をテーマに講演、オンライン）
 - ・ サレジオ高専業界研究セミナー（4 年生を対象に学科ごとに開催、全 4 回）
 - ・ サレジオ高専キャリアデー（機械電子工学科 3 年生を対象に開催）
- ② 地元企業見学ツアー



合同就職説明会の様子



業界研究セミナーの様子



就活スタートアップセミナーの様子



地元企業・相模原市役所と地元学生との交流会の様子



地元企業紹介動画取材の様子

2-11 人材育成

『マネジメント人材の育成と組織力強化の進め方 ～理念・方向性を共有して会社の発展に貢献する人材を育成する～』

事業の目的

中小・ベンチャー企業を主な対象に、将来的に起業家の右腕ともなりうる“マネジメント人材”に求められる役割や能力、“マネジメント人材”育成の必要性を理解し、今後の組織づくりのポイントを学ぶ研修を実施した。

※独立行政法人中小企業基盤整備機構 中小企業大学校東京校が実施する「サテライト・ゼミ」の一環として開催した。

開催概要

期 間：令和3年2月9日（水）、2月16日（水）、3月2日（水）、3月16日（水）（全4回）

場 所：サン・エールさがみはら（第1研修室）

講 師：東京保健医療専門職大学 教授 / 事業構想大学院大学 客員教授 片岡 幸彦 氏

受講者数

9社 9名



受講者の声

- ・考えるべきことや取り組むべきことが具体的に示されたので、自社の現状に照らして必要な施策を検討することができた。
- ・グループワークでは他社の課題や考え方にも触れることができ、今後の人材育成や組織づくりの参考になった。色々アドバイスをもらえ、仕事に活かしやすかった。
- ・研修での学びを実践したことで、社員の考えや価値観を把握することができ、今後の指針となる気づきが得られた。

カリキュラム

	内 容
第1回	マネジメント人材の必要性・重要性「参画型経営の実践」
	組織の理念・方向性の明確化「ストーリーテリングによる想いの発露」
第2回	マネジメント人材の発掘・育成のしくみづくり「マネジメント人材の計画的育成」
第3回	マネジメント人材の評価・育成策「制度やしくみの構築：ハード面」
	働きがいのある職場の作り方「エンゲージメント向上：ソフト面」
第4回	トップによる人材育成のポイント「理論編」
	トップによる人材育成のポイント「実践編」

3-1

さがみはら産業創造センターの歩み

1998 年度 (平成 10 年度)	・検討会の提言…市内の若手経営者、相模原市などの若手スタッフによる検討会が相模原市にセンター整備を提言
1999 年度 (平成 11 年度)	・会社設立…相模原市、相模原商工会議所及び新事業創出促進法に基き地域振興整備公団（現中小企業基盤整備機構）が出資し会社設立 ・増資…地元企業や地域金融機関などが出資 ・第 1 回女性起業家育成セミナー開催
2000 年度 (平成 12 年度)	・S I C-1（インキュベーションセンター）オープン ・第 1 回ビジネスプランコンテスト開催
2001 年度 (平成 13 年度)	・第 1 回さがみはら子どもアントレプレナー体験事業開催 ・増資…相模原市、地域振興整備公団（現中小企業基盤整備機構）、地元企業が出資
2002 年度 (平成 14 年度)	・S I C-2（ポストインキュベーションセンター）オープン ・第 1 回「S I C 経営塾」開講 ・女子美術大学と「ヒューマンデザイン開発支援事業」に関する協定を締結、中小企業のデザインを支援するデザイン開発支援事業を開始 ・経済産業省から「即効型地域新生コンソーシアム事業」を受託
2003 年度 (平成 15 年度)	・職業能力開発総合大学校と「地域企業活性化支援事業」に関する協定を締結 ・八千代銀行（現 きらぼし銀行）と「起業家支援事業」に関する協定を締結 ・地域企業 450 社の実態調査を実施
2004 年度 (平成 16 年度)	・神奈川工科大学と「産学連携事業」に関する協定を締結 ・第 1 回「S I C アントレ・インターンシップ」開講 ・かわらばん（入居企業版）創刊号発行
2005 年度 (平成 17 年度)	・S I C 1 号投資事業有限責任組合（S I C ファンド）を組成 ・神奈川県「新産業創出拠点形成促進事業」を受託 ・S I C 燃料電池研究会が発足 ・第 1 回 S I C 起業家塾開講
2006 年度 (平成 18 年度)	・相模原市から「首都圏南西地域産業活性化フォーラム」の運営を受託
2007 年度 (平成 19 年度)	・第 1 回職場リーダー塾開講 ・S P S 研究会が発足
2008 年度 (平成 20 年度)	・株式会社カイゼン・マイスターと業務提携し、地元企業向けのカイゼン支援を開始 ・かわらばん（地域企業版）創刊号発行
2009 年度 (平成 21 年度)	・さがみはら企業力支援事業を開始、併せてメンター（経営指南者）制度を創設 ・緊急雇用事業を相模原市から受託し、大規模な市内企業実態調査や産業界の人づくり支援事業などの人材育成に取り組む ・経済産業省から「低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業」を受託
2010 年度 (平成 22 年度)	・さがみはら表面技術研究所オープン ・インキュベーション型シェアードオフィス「DESK ⑩」オープン ・第 1 回台湾ビジネスマッチングを開催
2011 年度 (平成 23 年度)	・台湾工業技術研究院 (ITRI) と連携協定を締結 ・S I C-3（イノベーションラボ）オープン ・S I C 台湾ビジネスセンターオープン ・経済産業省「戦略的基盤技術高度化支援事業」を受託 ・企業紹介冊子「おもしろ企業の魅力拝見！」出版 ・地域発信冊子「葎根のブルーベリー」発行
2012 年度 (平成 24 年度)	・神奈川県「かながわ環境関連産業ネットワーク事業」等を受託 ・経済産業省「高度実践型支援人材育成事業」を受託 ・インキュベーションセンター「T-BISC」、「MBDA」の計画・運営サポートを受託 ・第 1 回南西フォーラムビジネスマッチング開催 ・SIC 台湾ビジネスサポート事業開始 ・第 1 回 SIC カイゼン研究会（現 SIC カイゼン・スクール）開講
2013 年度 (平成 25 年度)	・財団法人台湾建築中心（TABC）及び財団法人金属工業研究発展中心（MIRDC）と連携協定を締結 ・神奈川県「かながわ成長産業イノベーション事業」を受託
2014 年度 (平成 26 年度)	・地域密着型就職支援事業「サガツク」を開始 ・全国中小企業団体中央会 「ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業」受託 ・神奈川県「ロボット実証実験支援事業」重点プロジェクト委員会事務局を担う
2015 年度 (平成 27 年度)	・相模原市から産業用ロボット導入支援事業を受託し、さがみはらロボット導入支援センターをオープン ・神奈川県「成長産業育成支援事業」を受託
2016 年度 (平成 28 年度)	・「みんなで一人前の社会人になる研修」を開始 ・綾瀬市商工会からビジネスマッチング事業を受託 ・相模原市と連携する大和市・座間市・寒川町から産業用ロボット導入支援事業を受託
2017 年度 (平成 29 年度)	・神奈川県「成長ベンチャー情報発信事業」受託 ・台湾工業技術研究所 (ITRI)、財団法人金属工業研究発展中心 (MIRDC) と連携協定を更新
2018 年度 (平成 30 年度)	・S I C-2 R&D Lab. 着工 ・World Robot Challenge 2018 に市内企業等で Team SAGAMIHARA を結成し参加
2019 年度 (令和元年度)	・S I C-2 R&D Lab. オープン ・相模女子大学との連携協定を締結 ・相模原市「ロボット制御・AI 等共同研究開発事業」受託 ・綾瀬市「中小企業コンサルティング事業」受託
2020 年度 (令和 2 年度)	・シェアする“オフィス&ラボ” EN-Garege（DESK ⑩・Fab ⑩）オープン”
2021 年度 (令和 3 年度)	・神奈川工科大学「産学連携による中小企業支援等に関する協定」を再締結 ・相模原市「ロボット・AI・IoT 活用 DX 化促進支援事業業務委託」受託 ・中小企業大学校「サテライト・ゼミ」連携開始

3-2

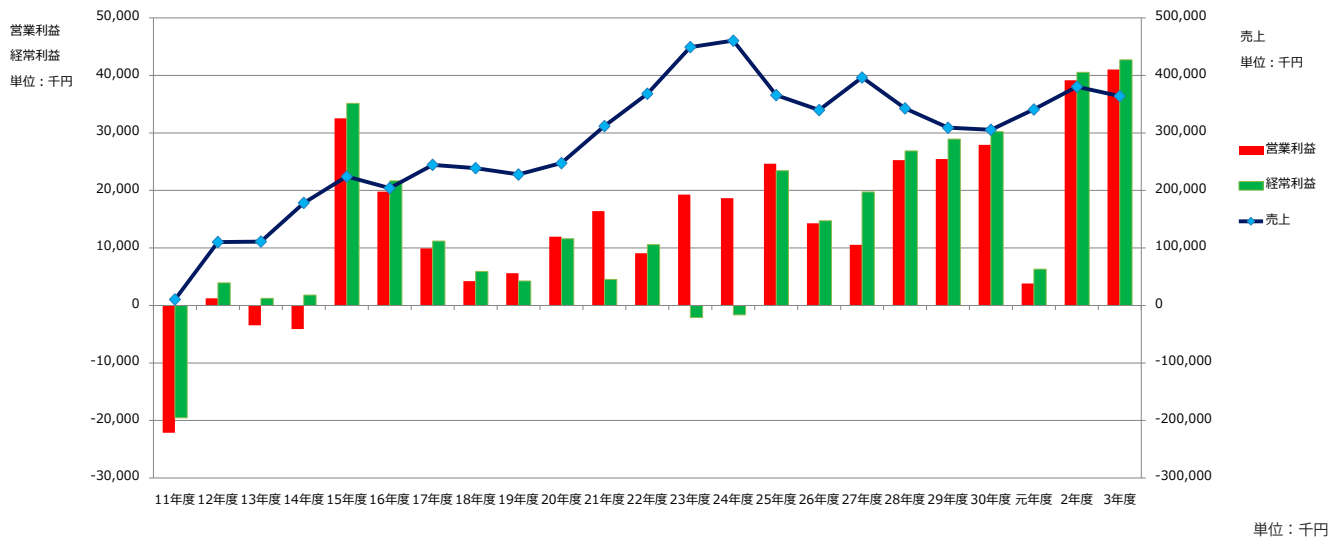
主な事業と開始年度（カテゴリー別）

年 度	ラボ・オフィス	経営サポート	プロジェクト	人材育成	資金調達・販路開拓
1999 年度 (平成 11 年度)		・ビジネスプランコンテスト	・新規成長産業連携支援事業	・女性起業家育成セミナー	
2000 年度 (平成 12 年度)	S I C-1 オープン	・株式公開塾 ・入居企業セミナー	・中小企業のための技術セミナー		
2001 年度 (平成 13 年度)			・ミニコンソーシアム事業	・さがみはら子どもアントレプレナー体験事業（小学生）	
2002 年度 (平成 14 年度)	S I C-2 オープン	・アントレフォスター事業 ・中小企業のデザイン開発支援	・経済産業省「即効型 地域新生コンソーシアム」受託	・SIC 経営塾 ・さがみはら子どもアントレプレナー体験事業（中高生）	・KSP ベンチャー マッチング商談会に参画
2003 年度 (平成 15 年度)		・八千代起業家支援プログラム ・地域企業実態調査 (450 社)	・大学シーズ調査	・SIC 経営者セミナー	
2004 年度 (平成 16 年度)		・さがみはら青年アントレプレナープロデュース事業 ・かわらばん（入居企業版） 創刊号発行	・新技術創造研究会	・SIC アントレ・インターン	
2005 年度 (平成 17 年度)			・神奈川県「新産業創出拠点形成促進事業」受託 ・燃料電池研究会発足	・SIC 起業家塾	・SIC1 号投資事業 有限責任組合組成
2006 年度 (平成 18 年度)		・チャレンジショップ	・「首都圏南西地域産業活性化フォーラム」受託	・SIC 起業家育成大学校	・入居企業 4 社、地域企業 3 社に出資
2007 年度 (平成 19 年度)			・SPS 研究会	・SIC 職場リーダー養成塾	・入居企業 1 社、地域企業 2 社に出資
2008 年度 (平成 20 年度)		・中小企業のカイゼン活動支援 ・かわらばん（地域企業版） 創刊号発行	・実用化開発支援		・入居企業 1 社に出資 ・SIC テクノロジーマッチング ・KSP 協創マッチングフォーラムに参画
2009 年度 (平成 21 年度)		・メンター制度 ・さがみはら企業力支援事業 ・地域企業実態調査（500 社）	・経済産業省「低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業」受託	・地域産業界の人づくり支援事業 ・さがみはら未来塾 ・ベンチャー・中小企業人材確保支援事業	
2010 年度 (平成 22 年度)	DESK ⑩ オープン	・ソーシャルビジネス創育支援事業	・高度研究人材活用事業 (さがみはら表面技術研究所) ・神奈川県バイオベンチャー人材活用事業		・台湾ビジネスマッチング開催 ・川崎市産業振興財団 新事業マッチングフォーラム参画
2011 年度 (平成 23 年度)	S I C-3 オープン	・企業紹介冊子「おもしろ企業の魅力拝見！」出版 ・地域発信冊子「葦尾根のブルーベリー」発行	・経済産業省「戦略的基盤技術高度化支援事業」受託 ・新製品開発のための「協創プロジェクト」 ・相模原市から「新技術実用化コンソーシアム 形成支援事業」受託	・ISB 公共未来塾	・台湾工業技術研究院と協定 ・SIC 台湾ビジネスセンターオープン
2012 年度 (平成 24 年度)	「T-BISC」、 「MBDA」 の計画・運営サポート	・地域発信冊子「里山コミュニティ」発行 ・企業紹介冊子「い〜コトなび」発行	・神奈川県「かながわ環境関連産業ネットワーク事業」受託	・SIC カイゼン研究会 ・経済産業省「高度実践型支援人材育成事業」 ・女性力発揮セミナー ・子どもワークショップ	・日本台湾アライアンスセミナー ・南西フォーラムビジネスマッチング
2013 年度 (平成 25 年度)			・可搬型燃料電池・飲料水供給装置の開発	・SIC カイゼンスクール	・財団法人台湾建築中心、財団法人金属工業研究発展中心と連携協定を締結 ・日台環境・建築ビジネスマッチングを開催
2014 年度 (平成 26 年度)			・全国中小企業団体中央会「ものづくり中小企業・事業者連携支援事業」 ・神奈川県「ロボット実証実験支援事業」重点プロジェクト事業	・「サガツクナビ」ポータルサイト	
2015 年度 (平成 27 年度)			・相模原市「産業用ロボット導入支援事業」「コンソーシアム加速化支援事業」受託 ・神奈川県「成長産業育成支援事業」受託		
2016 年度 (平成 28 年度)				・「みんなで一人前の社会人になる研修」	・SIC1 号投資事業 有限責任組合解散
2017 年度 (平成 29 年度)			・神奈川県「成長ベンチャー情報発信事業」受託		・日台ものづくり企業ビジネス交流ツアー
2018 年度 (平成 30 年度)	S I C-2(仮) 増築棟起工式				
2019 年度 (令和元年度)	S I C-2 R&D Lab. オープン		・相模原市「ロボット制御・AI 等共同研究開発事業」受託		
2020 年度 (令和 2 年度)	EN-Garege オープン				
2021 年度 (令和 3 年度)			・相模原市「ロボット・AI・IoT 活用 DX 化促進支援事業業務委託」受託	・サテライト・ゼミ「マネジメント人材の育成と組織力強化の進め方」	

3-3

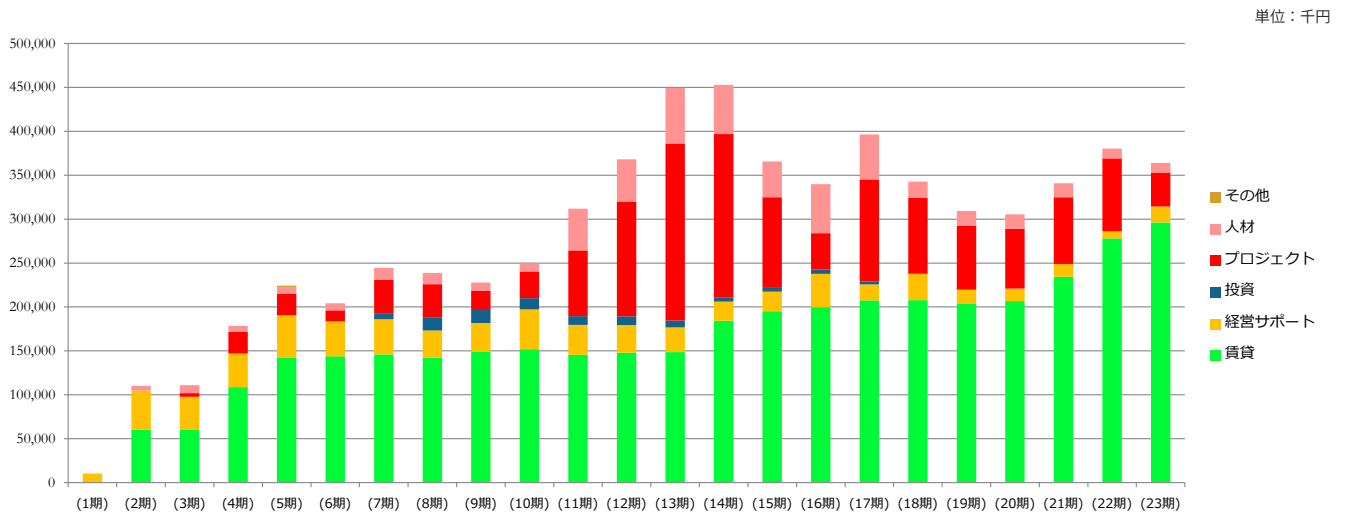
財務状況

P／L推移



	11年度 (1期)	12年度 (2期)	13年度 (3期)	14年度 (4期)	15年度 (5期)	16年度 (6期)	17年度 (7期)	18年度 (8期)	19年度 (9期)	20年度 (10期)	21年度 (11期)	22年度 (12期)	23年度 (13期)	24年度 (14期)	25年度 (15期)	26年度 (16期)	27年度 (17期)	28年度 (18期)	29年度 (19期)	30年度 (20期)	元年度 (21期)	2年度 (22期)	3年度 (23期)
売上	10,429	110,264	111,008	178,323	224,271	204,022	244,523	238,812	227,805	247,560	311,824	368,145	449,221	452,739	365,658	339,759	396,465	342,657	309,168	305,449	340,813	380,385	364,076
営業利益	-22,122	1,257	-3,455	-4,101	32,523	19,804	9,914	4,219	5,620	11,946	16,397	9,080	19,283	18,649	24,640	14,298	10,548	25,278	25,445	27,926	3,808	39,159	41,019
経常利益	-19,522	3,922	1,256	1,817	35,141	21,656	11,200	5,910	4,242	11,604	4,514	10,568	-2,082	-1,641	23,436	14,711	19,727	26,860	28,937	30,221	6,310	40,541	42,701

事業別売上高の推移



	11年度 (1期)	12年度 (2期)	13年度 (3期)	14年度 (4期)	15年度 (5期)	16年度 (6期)	17年度 (7期)	18年度 (8期)	19年度 (9期)	20年度 (10期)	21年度 (11期)	22年度 (12期)	23年度 (13期)	24年度 (14期)	25年度 (15期)	26年度 (16期)	27年度 (17期)	28年度 (18期)	29年度 (19期)	30年度 (20期)	元年度 (21期)	2年度 (22期)	3年度 (23期)
貸貨	0	60,473	60,622	108,655	142,026	143,982	145,990	142,525	148,914	151,930	145,552	147,969	148,705	184,290	195,181	199,726	207,547	207,790	204,049	206,749	234,421	277,910	296,197
経営サポート	10,429	44,344	37,125	38,379	48,475	39,669	40,038	30,769	32,709	45,225	34,042	31,402	28,039	21,837	22,348	38,000	18,204	30,010	15,758	14,132	14,482	8,217	18,248
投資	0	0	0	0	0	0	6,250	15,000	15,000	12,915	9,999	10,000	7,917	5,000	5,000	5,000	3,250	750	0	0	0	0	0
プロジェクト	0	0	4,130	24,713	24,744	12,530	38,545	37,595	21,655	30,258	74,868	130,200	201,456	185,723	102,340	41,195	116,116	85,967	72,519	68,249	75,931	83,045	38,551
人材	0	5,447	8,629	6,576	6,785	7,809	13,699	12,922	9,525	8,969	47,363	48,574	63,105	55,889	40,788	55,837	51,349	18,140	16,841	16,318	15,978	11,212	11,079
その他	0	0	502	0	2,240	32	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
売上合計	10,429	110,264	111,008	178,323	224,271	204,022	244,523	238,812	227,805	247,560	311,824	368,145	449,222	452,739	365,658	339,759	396,466	342,657	309,168	305,449	340,813	380,385	364,076

3-4

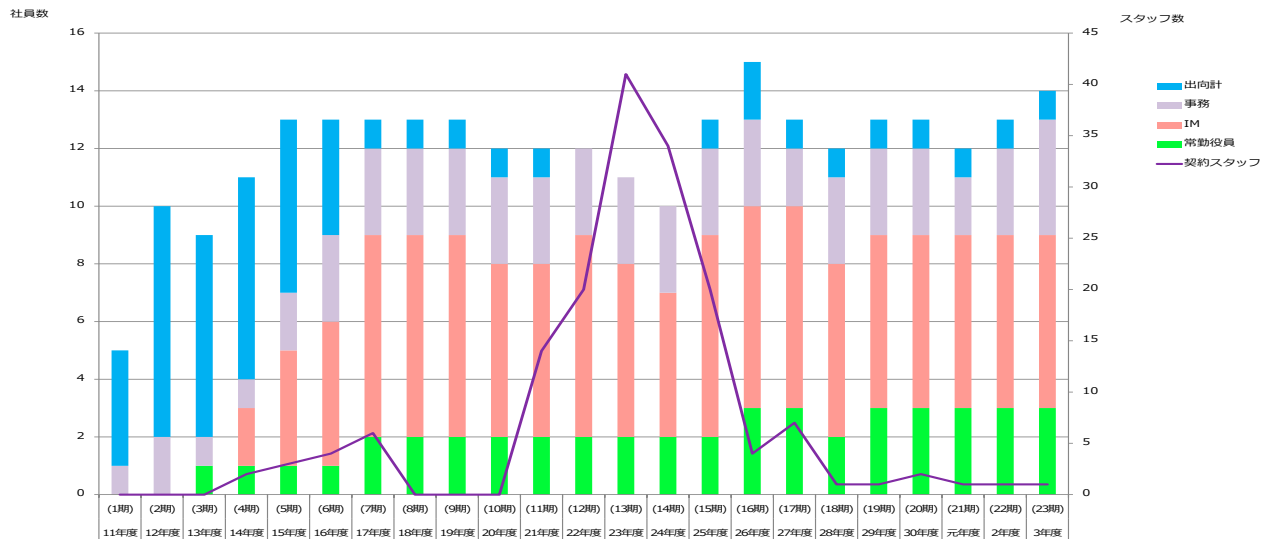
競争的資金の獲得

単位：千円

年 度	資金獲得先	事 業 名	資 金 額
平成 14 年度	経済産業省	即効型地域新生コンソーシアム研究開発事業 「次世代デバイス用超高精度ナノレベル研磨・洗浄複合装置の開発」	40,000
平成 17 年度	神奈川県	新産業創出拠点形成促進事業 「燃料電池システムにおける本体及び周辺機器・部品の開発」	20,000
平成 18 年度	神奈川県	新産業創出拠点形成促進事業 「燃料電池システムにおける本体及び周辺機器・部品の開発」	22,000
平成 20 年度	中小機構	川上川下ネットワーク構築支援事業 「次世代エネルギーシステムの早期実用化ネットワーク構築」	25,600
		新現役チャレンジ支援事業 「新現役人材による中小企業支援のモデル事業としてカイゼン支援プログラム開発」	
		ビジネス・インキュベータ（B I）における広域的ネットワーク構築の調査事業 「“ グループインキュベーション ” 手法の開発と検証 ― ネットワークによる支援と手法のネットワーク化―」	
	神奈川県	ベンチャー創出促進モデルプロジェクト事業 「動物病院医療市場を対象とした犬のアレルギー及び免疫検査受託事業」 「静電エンコーダの事業化」	
平成 21 年度	経済産業省	低炭素社会に向けた技術発掘・社会システム実証モデル事業 「太陽光雨水などの自然の恵みを有効活用した安全・安心な低炭素社会システムの構築」	64,000
平成 22 年度	経済産業省	中小企業海外販路開拓支援事業（台湾ビジネスマッチング） 「神奈川県ビジネス・インキュベータ連携による I T / エレクトロニクス分野 研究関連型ベンチャー企業の海外販路支援事業」	11,500
平成 23 年度	経済産業省	戦略的基盤技術高度化支援事業 「次世代パワーデバイス向け革新的手法を用いた成膜技術の開発」	7,000
	中小機構	B I ネットワーク構築事業 「T - B I S C の整備に協調・連携した国内外ビジネスマッチング事業」	
	神奈川県	新産業ベンチャー事業化支援事業 「生物機能制御・改善のための体内時計調節剤及び関連試薬の開発」	
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「表面形状を制御した低摺動医療用機能部品の要素開発」	
平成 24 年度	経済産業省	戦略的基盤技術高度化支援事業「次世代パワーデバイス向け革新的手法を用いた成膜技術の開発」 高度実践型支援人材育成事業	101,700
	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業 かながわエネルギー関連ベンチャーマッチング・パートナーリング支援事業	
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「表面形状を制御した低摺動医療用機能部品の要素開発」	
平成 25 年度	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業	8,000
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成事業 「表面形状を制御した医療用機能部品の要素開発」	
平成 26 年度	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業 かながわ成長産業イノベーション事業	33,900
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成事業 「ハーブ等植物の家庭用高効率栽培システムの開発」	
平成 27 年度	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業 かながわ成長産業育成支援事業 新技術実用化コンソーシアム形成支援事業	21,470
	相模原市	「ハーブ等植物の家庭用高効率栽培システムの開発」 コンソーシアム加速化支援事業	
平成 28 年度	神奈川県	かながわ環境関連産業ネットワーク事業 かながわ成長産業育成支援事業	17,770
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「商店街の安全性向上・活性化を目指したハイパー自販機の開発」	
平成 29 年度	神奈川県	成長ベンチャー情報発信事業 「エネルギー及び I T 分野」	6,480
	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「商店街の安全性向上・活性化を目指したハイパー自販機の開発」	
平成 30 年度	相模原市	新技術実用化コンソーシアム形成支援事業 「商店街の安全性向上・活性化を目指したハイパー自販機の開発」	2,777
令和元年度	相模原市	ロボット制御・AI 等共同研究開発事業	9,090
令和 2 年度	相模原市	ロボット制御・AI 等共同研究開発事業	13,636

3-5

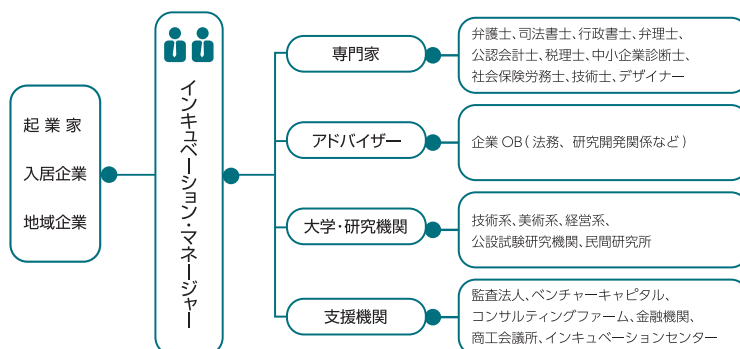
スタッフ数の変遷



	11年度 (1期)	12年度 (2期)	13年度 (3期)	14年度 (4期)	15年度 (5期)	16年度 (6期)	17年度 (7期)	18年度 (8期)	19年度 (9期)	20年度 (10期)	21年度 (11期)	22年度 (12期)	23年度 (13期)	24年度 (14期)	25年度 (15期)	26年度 (16期)	27年度 (17期)	28年度 (18期)	29年度 (19期)	30年度 (20期)	元年度 (21期)	2年度 (22期)	3年度 (23期)
常勤役員	0	0	1	1	1	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	2	3	3	3	3	3
非常勤役員	13	13	13	13	15	15	13	12	11	10	10	10	11	11	12	13	12	12	12	13	12	12	12
IM	0	0	0	2	4	5	7	7	7	6	6	7	6	5	7	7	7	6	6	6	6	6	6
事務	1	2	1	1	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	2	3	4
相模原市から出向	3	5	5	4	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中小機構からの出向	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
銀行からの出向	1	3	1	2	1	1	1	1	1	1	1	0	0	0	1	2	1	1	1	1	1	1	1
出向計	4	8	7	7	6	4	1	1	1	1	1	0	0	0	1	2	1	1	1	1	1	1	1
計	5	10	8	10	12	12	11	11	11	10	10	10	9	8	11	12	10	10	10	10	9	10	11
契約スタッフ	0	0	0	2	3	4	6	0	0	0	14	20	41	34	20	4	7	1	1	2	1	1	1
パートタイマー	0	1	1	4	2	2	4	3	1	1	1	1	3	3	3	4	3	3	5	2	2	2	2

3-6

支援ネットワーク



3-7

視察・研修

令和3年度 国内

名 称
視 察
東京都都市整備局、関西学院大学 大阪産業経済リサーチセンター、南魚沼市、 NPO 法人長岡産業活性化協会 NAZE、東京都産業労働局商工部地域産業振興課
研 修
一般社団法人JBIA IM 養成研修

海外

年 度	名 称	
平成 17 年度	チュニジアベンチャーキャピタル協会 海外技術者研修	チュニジア アジア、アフリカ諸国
平成 19 年度	集団研修地方自治体による民間産業活性化セミナー（JICA） モンゴル中小企業振興研修	アジア、アフリカ、中東、中南米諸国 モンゴル
平成 20 年度	集団研修地方自治体による民間産業活性化セミナー（JICA）	アジア、オセアニア、アフリカ諸国
平成 21 年度	集団研修地方自治体による民間産業活性化セミナー（JICA） 韓国インキュベーションスタッフ研修	アジア、オセアニア、アフリカ諸国 韓国
平成 22 年度	オマーン技術大学指導員研修、無錫市政府 マレーシア国職業訓練校指導員研修	オマーン、中国 マレーシア
平成 23 年度	工業技術研究院、中国山東省（対日投資）視察団	台湾、中国
平成 24 年度	中小企業支援法制度検討視察（JICA） 国際企業人材育成センター日本語プログラム研修（台湾貿易センター）	ベトナム 台湾
平成 25 年度	アフリカ地域女性起業家支援セミナー（JICA） 台湾工業技術研究院 産業経済と趨勢研究中心	アフリカ諸国 台湾
平成 26 年度	シンガポール国立大学	シンガポール
平成 27 年度	法政大学（欧州産学連携研究者視察団）、トロント市議会 中国 無錫市、韓国技術ベンチャー財団 行政院世界企業誘致総合サービスセンター、工業技術研究院 台北市コンピュータ協会 アメリカ オースティンアジア商工会、タイ対日技術振興協会	欧州、カナダ 中国、韓国 台湾 台湾 アメリカ、タイ
平成 28 年度	スリランカソフトウェアサービス協会	スリランカ
平成 29 年度	台湾手工具工業同業公会 韓国生産性本部、韓国技術ベンチャー財団・企業、韓国創業振興院 ドイツロボット関連企業視察団、JETRO トロント 中国ロボット関連企業視察団	台湾 韓国 ドイツ、カナダ 中国
平成 30 年度	ベトナム政府及び中小企業支援機関、オンタリオ州東京事務所、 タイ王国科学技術庁、泰日工業大学、韓国技術ベンチャー財団、 JETRO トロント、中国・遼寧省経済視察団	中国、 タイ、韓国 アメリカ、中国
令和元年度	泰日工業大学	タイ

3-8

メディア掲載（令和3年度）

年月日	メディア	表 題
2021.06.24	相模経済新聞	若葉台住宅 高齢化率2倍の住宅地 魅力発信し若年層招致へ
2021.09.30	神奈川新聞	インターンで連携さらに
2021.09.30	日刊工業新聞	中小支援連携で協定
2021.09.30	日刊工業新聞	ロボ Sler 講座の参加者募集
2021.10.01	相模経済新聞	SIC 神奈川工科大と連携 技術や人材育成で
2021.10.04	ロボットダイジェスト (Web)	Sler 養成講座を開催 / さがみはら産業創造センター
2021.10.12	かながわ経済新聞	SIC と神奈川工科大、中小支援で協定
2021.11.20	相模経済新聞	アリオでロボ体験展示会へ
2021.11.20	相模経済新聞	DX 推進セミナー来月6日ズームで開催
2021.11.28	TBS	まちづくり夢づくり PART2 身近なロボットで地域を支える！
2021.12.10	日刊工業新聞	ロボットをもっと身近に京王電鉄など相模原で披露イベント
2022.01.24	ロボットダイジェスト (Web) 月刊生産財マーケティング (3月号)	啓蒙からより実践的な支援へ／さがみはらロボット導入支援センター
2022.02.10	ミラサポ Plus (Web)	支援機関とともに「民間支援機関編」 ～ものづくり補助金の申請支援から、その後の経営サポートまで～
2022.03.31	ロボットダイジェスト (Web)	遠隔操作技術の活用セミナーを開催／さがみはら産業創造センター

3-9

広報紙 「かわらばん」の発行

▶ SICかわらばん（入居企業版） 内容：入居企業紹介、セミナー等情報提供等

入居企業様と入居企業様そして当センターとのコミュニケーションの促進を図る為に、新しく入居された企業様のご紹介や入居企業交流会、当センターの開催事業、施設関係の細やかなご案内など、当センターでより快適にご入居頂ける事を目的に毎月発行しています。

発行 No.	発行日	紹介企業名（入居企業）他
No. 203	令和 3 年 4 月 1 日	三愛石油株式会社（現 三愛オブリ株式会社）化学品事業部 研究所
No. 204	令和 3 年 5 月 6 日	ファーストエンジニアリング株式会社
No. 205	令和 3 年 6 月 1 日	株式会社キャロットシステムズ SIC 開発センター
No. 206	令和 3 年 7 月 1 日	カネパッケージ株式会社 神奈川営業所
No. 207	令和 3 年 8 月 2 日	サメス・クレムリン株式会社
No. 208	令和 3 年 9 月 1 日	FN パートナーズ合同会社
No. 209	令和 3 年 10 月 1 日	一期一彩
No. 210	令和 3 年 11 月 1 日	株式会社セプテム総研
No. 211	令和 3 年 12 月 1 日	有限会社中村電機
No. 212	令和 4 年 1 月 4 日	新春のご挨拶
No. 213	令和 4 年 2 月 1 日	株式会社 K S B I Z
No. 214	令和 4 年 3 月 1 日	大豊産業株式会社 営業本部 神奈川事業所



▶ SICかわらばん（地域企業版） 内容：地域企業紹介、入居企業紹介、特集記事、セミナー等情報提供、地元紹介等

地域企業様と当センター、地域企業様と入居企業様、地域企業様と地域企業様を繋ぐコミュニケーションツールとして、入居企業様や地域企業様に親しまれ、企業の皆さまにより良い情報をお届けすることを目的に隔月発行しています。

発行 No.	発行日	紹介企業名（地域企業）	紹介企業名（入居企業）	企画ページ
No. 72	令和 3 年 5 月 17 日	ユタカ精工株式会社	日本サポートシステム株式会社	最近よく聞く「創業支援」とは？ 第2回 “創業支援の現場から”
No. 73	令和 3 年 7 月 15 日	株式会社スタンコミュニケーションズ	さくらみらいマネジメントサービス株式会社	社会保険労務士の現場から第1回 “新型コロナウイルス感染症への対応①”
No. 74	令和 3 年 9 月 15 日	有限会社山内エンジニアリング	株式会社トランセンド	社会保険労務士の現場から第2回 “新型コロナウイルス感染症への対応②”
No. 75	令和 3 年 11 月 15 日	オー センテック株式会社	A B B 株式会社	社会保険労務士の現場から第3回 “新型コロナウイルス感染症の収束後について”
No. 76	令和 4 年 1 月 17 日	J E T 株式会社	株式会社 D O N K E Y	新年挨拶
No. 77	令和 4 年 3 月 15 日	マイクロテック・ラボラトリー株式会社	ティスコ株式会社	税理士が解説！インボイス制度のポイント 第1回 “期待される創業者と多様な創業支援”



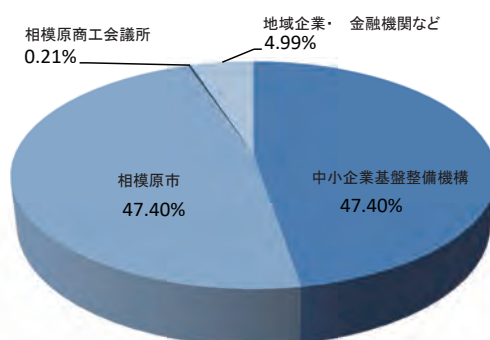
3-10

株主と役員

株主数：31 社（者） 発行済株式の総数：47,890 株 資本金：23 億 9,450 万円 令和 4 年 3 月 31 日時点

相模原市	独立行政法人中小企業基盤整備機構
株式会社きらぼし銀行	株式会社ボイス
株式会社ハリマビステム	古木建設株式会社
株式会社横浜銀行	西武信用金庫
湘南デザイン株式会社	株式会社三菱UFJ銀行
相模原商工会議所	日本テクノ株式会社
城山工業株式会社	三菱重工エンジン&ターボチャージャ株式会社
日本電子工業株式会社	相模原市農業協同組合
権田金属工業株式会社	株式会社相模運輸
相模ガス株式会社	株式会社昭和真空
篠崎電業株式会社	タイヨー印刷株式会社
東邦電子株式会社	東京海上日動火災保険株式会社
野村 隆	ブックオフコーポレーション株式会社
アイシンク株式会社	株式会社キャロットシステムズ
Apex 株式会社	

構成割合



代表取締役 取締役

橋元 雅敏	
安藤 重夫	
稲垣 英孝	
山崎 利宏	(城山工業株式会社 代表取締役)
西澤 勇司	(株式会社キャロットシステムズ 代表取締役)
杉本 祥一	(株式会社ハイスポット 代表取締役)
早川 正彦	(有限会社早川銘板製作所 代表取締役)
佐々木 亮一	(株式会社ライト 代表取締役)
若林 和彦	(相模原市 環境経済局 経済部長)
布施 昭愛	(相模原商工会議所 事務局長兼中小企業振興部長)

監査役

石川 敏美	
平田 光子	(日本大学 生産工学部 マネジメント工学科 教授)
安田 弘幸	(安田弘幸公認会計士事務所 所長)
池田 亨	(株式会社横浜銀行 相模原エリア統括兼相模原駅前支店長)
宮川 日出男	(株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ 連携推進部 公共連携推進室長)

SIC-1 Startup Lab. / SIC-2 Creation Lab. / R&D Lab.

さがみはら
産業創造センター



交通アクセス

- 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）
相模原インターから約5 km
 - 新横浜駅まで約27分 ■横浜駅まで約40分
 - 新宿駅まで約40分 ■東京駅まで約60分
 - 橋本駅南口から徒歩10分（約1 km）
- ★お車でお越しの場合
SIC-1へは「西橋本3丁目」交差点方向より、SIC-2へは「橋本高校前」交差点方向よりお越し下さい。（反対方向からは進入できません）

SIC-3 Innovation Lab.



交通アクセス

- 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）相模原愛川インターから3 km
- JR 相模線「上溝駅」から徒歩10分

株式会社さがみはら産業創造センター
Sagamihara Incubation Center Ltd. (SIC)

SIC-1 Startup Lab. / SIC-2 Creation Lab. / R&D Lab.

〒252-0131 神奈川県相模原市緑区西橋本5-4-21

SIC-3 Innovation Lab.

〒252-0243 神奈川県相模原市中央区上溝1880番-2

Tel:042-770-9119 (代) Fax:042-770-9077

URL <https://www.sic-sagamihara.jp>